



## 「恵みとまことを捨ててはならない。それをあなたの首に結び、あなたの心の板に書きしるせ。 神と人との前に好意と聰明を得よ。」

(箴言 3章3-4節)

ハレルヤ！ 皆さん、お元気ですか。マガジン37号、出来ましたので、お届けします。ディズニーからの扉が開かれた映画「ソウル・サーファー」の「試写会+DVD販売会」、ベサニーとの被災地、気仙沼での講演会、阪神タイガース・スタンリッジほか、盛りだくさんです。白馬セミナーの準備も、佳境です。秋のセミナーとして、12回目を数える今回、神様のあわれみの中で、今年も祝福された会となるよう、最善の準備ができるようお祈りください。また、神様に招かれている皆さん、みんな参加できるよう、ご参加&お祈りのほど、よろしくお願いします。

チア・にっぽん代表 稲葉 寛夫

### 洗礼式

夏に出会って、伝道の機会が与えられ、イエス様を救い主と信じてくれたAくんの洗礼式がありました。早朝、約30名が見守る中、英語ベースで進みました。僕が日本語で祈ったら、A君、泣きだしました。とても素朴で、純粋な感じの洗礼式で感動しました。

洗礼式を行った教会は、LA郊外のダイアモンドバー市にあります。この町は、僕の人生にとって特別な町です。洗礼式に合わせ、午前5時出発で、霧の中、29年10ヶ月ぶりに訪れました。当時、僕はまだ、神様をとりあえず信じている段階で、神様、本当におられるのですか…と、試していた頃です。そして、イエス様に従いますと、最終的に決心することになった特別な場所でした。

1983年、大学2年の冬、とりあえず、、、と、イエス様を信じて5ヶ月（でもまだ、確信がない時代）、導いてくれた後に帰国していたB宣教師に励まされ、アメリカ3週間の旅に来ました。年末に2万人のクリスチャン学生が集まるカンファレンスを前後して、各地でホームステイする旅でした。7月にイエス様を信じた頃、その案が話され、行きたいと思いました。でも、9月に17才の妹の京子が小児ぜんそくの発作で急逝し、旅への思いは無くなっていました。断ろうとして、父に話したら、「行ってきたら、気持ちも変わるだろうから、いい話しじゃないか」と励まして行くことになったのでした。

### 祈り

フィラデルフィア、カンザス、そしてロサンゼルスの地にて、「神様、もし、本当にいるなら、答えてください」と、それぞれ具体的な課題について、神



デービス&レイチェル カーマン夫妻 （白馬セミナー基調講演）  
7人の子どもをホームスクーリングして17年め。アポロジア（信仰継承）出版社社長&人気作家の2人が合わせて13セッションを担当します！（エリザベス・スマッシュLDA代表夫人推薦！）

様を試すような祈りをしていました。フィラデルフィア、カンザスと祈りは答えられ、3度目の祈りが、このダイアモンドバーの教会で答えられたのでした。

アメリカ滞在の最後の週、僕は、ホームステイ先のやさしい老父母や、コーディネートしてくれたキャンパス・クルセードのスタッフ・学生たちに、とても感動していました。全米各地のホームステイ先に散っていた日本からの学生チーム、10人で集まる機会があり、僕は「お別れ会があるようだ。その時、感謝を表すために、なにか劇でもやろう！」と呼びかけて、台本作りと監督と司会の責任を持つことにしました。でも、自信がなかったので、「神様、も



スカイツリーをバックに俊足！  
 (200、100、50、25メートルに、競技者134名)

雨に見舞われたことがありました。翌日、沼のようないわらの上にグランドでソフトボールをやって、とても楽しかった思い出があります。今回、どのような計画を神さまが持っているか、わかりませんが、いずれにせよ、元気で楽しいことになると思います。ケガ等なく、神さまの栄光が現されますように、お祈りのほど、どうぞよろしくお願ひします」

成田到着後、HPに掲載。その翌日、土曜、日曜と、台風は速度を増し、当日は東北海上沖へと過ぎ去り、見事に快晴。ただ、神さまを讃えました。

激しい暴風雨を止められたイエス様が、「恐れるな、信仰はどこにある？」と弟子たちを鼓舞した箇所を思いました。

…激しい突風が起り、舟は波をかぶって、水でいっぱいになった。ところがイエスだけは、とのほうで、枕をして眠っておられた。弟子たちはイエスを起こして言った。「先生。私たちがおぼれて死にそうでも、何とも思われないですか。」イエスは起き上がって、風をしかりつけ、湖に「黙れ、静まれ」と言られた。すると風はやみ、大なぎになった。イエスは彼らに言られた。「どうしてそんなにこわがるのです。信仰がないのは、どうしたことです。」彼らは大きな恐怖に包まれて、互いに言った。「風や湖までが言うことをきくとは、いったいこの方はどういう方なのだろう」（マルコ 4：37-41）

### ホームスクーラー実力アップ作戦 — 心技体 編

「ホームスクーラーは、走らせておけばいい！ひたすら運動させて疲れさせると、あれこれ考え込んだり、悩んだりすることが少なくなるから（笑）」「お母さんは、車から僕らを降ろして走らせ、自分は車についてきました（笑）。今春のコンベンションで、主講師のポール・スコフィールドさんや、映画「ソウル・サーファー」のベサニー・ハミルトンさんの兄、ノアさんらが強調した点です。今回、特にうれしかったことの1つは、「運動は苦手」「運動会や走ったり、競争したりするのは嫌い」…といった子

どもたちや親たちが続々、参加してくれ、「何のプレッシャーもなく、はじめて運動会が楽しいと思えました」「子どもも結局は楽しかったそうです」といったコメントが多く寄せられたことです。「去年より、成績が伸びて、うれしい」とのコメントもあり、また、「結果はよくなかったけど、そのことを気にせず、思い切って参加できたことが自分の中で満足でした」とかのコメント、感動しました。

聖書では、良く走ることや、競技する例えが、たくさん出ています。運動、スポーツの訓練、競技する姿勢と、人生の目標を明確に、聖書に立ってその目標を目指して、心技体を鍛錬していくことと要素が重なっているからだと思います。

「競技場で走る人たちは、みな走っても、賞を受けるのはただひとりだ、ということを知っているでしょう。ですから、あなたがたも、賞を受けられるように走りなさい。また闘技をする者は、あらゆることについて自制します。彼らは朽ちる冠を受けるためにそうするのですが、私たちは朽ちない冠を受けるためにそうするのです。ですから、私は決勝点がどこかわからないような走り方はしていません。空を打つような拳闘もしてはいません」（第一コリント 9：24-26）

「私は、自分はすでに捕らえたなどと考えてはいません。ただ、この一事に励んでいます。すなわち、うしろのものを忘れ、ひたむきに前のものに向かって進み、キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の栄冠を得るために、目標を目指して一心に走っているのです」（ピリピ 3：13、14）

チャーチ＆ホームスクーラーの実力をアップし、長く、効果的に神様に仕えていくためには、親子共々、心技体の鍛錬をしていくことの有効性は、多



激走！障害物競走 ゴールして倒れ込むホームスクーラーたち



お母さんもがんばる！ ジャベリック（やり投げ）& ソフトボール投げ（競技者のべ167名）

くの講師陣が認めるところで、去年の阪神タイガースのマット・マートン選手からの提案もありました。この2~3年、その分野からの訓練・実力アップの恵みを僕も体験させられているので、少し、証させていただきますね。

#### 伝道のためにも体力作り

僕が運動を志したのは、今から2年半ほど前です。ある時、空港に着き、税関を目指して歩いていて、途中、大きなガラスを見てショックを受けました。映っていたのは、「わ、腰が曲がって、おじいさんのように歩いてる！」自分でいた。「信じられない！」高校時代は、甲子園を目指す野球部に所属し、厳しい訓練に明けくれていました。毎日の練習が辛くて、気が滅入る、僕の人生で灰色だったと思える3年間です。でも、今思うとそのお陰で、体力と忍耐力が養われ、こと体力には自信が与えられました。でも、その後、約30年、ほとんどエクササイズ等心がけず、高校時代の貯金で過ごしていました。空港のガラスを見て、タイムスリップした75才ぐらいの自分を見ているようで「いつのまに、こうなったのか…」とショックを受けたのです。

同時期に、尊敬する知人の息子さんが言ったことばも心に残りました。「親父は、しっかり運動し、食事に気をつけてたら、あと10年はびんびんして伝道できたとお医者さんに言われた…」としみじみしたことばでした。確かにそうだと思い、自分の体を鍛え直さなければと思いました。先のことはわからず、明日、命が無くなるかもしれませんのが、神さまが計画を与えられている期間、元気に伝道を続けて、できれば105才まで元気に伝え(笑)、そして、バツと天国へと向かうためにも鍛えられるよう、祈りました。

数ヶ月後、神さまは、励まされる取材の機会を与えてくれました。エベレストに70才、75才での登頂に成功し、記録を作った、三浦雄一郎さんの取材です。世界的な冒険家だった三浦さんは、65才の頃には、メタボと成人病で500メートルの山を登れなくなり、冒険家としての人生は終わったと思っていたそ

うです。その頃、お父さんの敬三さんが、98才でモンブランの氷河をスキーで滑降。お父さんの姿やオリンピックのモーグルで活躍する息子さんの姿に啓発を受け、再び、歩くことから運動を再開、不整脈や心臓病も克服し、現在に至ります。今月、記者会見を開き、取材当時（2010年秋）に僕たちに語っていた夢を着実に具現化し、来年5月に「80才でエベレストに登頂する計画」を正式に発表しました。取材時は、77才11ヶ月で、「若いなー、信じられない」と思ったのが、出会った第一印象。メタボや成人病で苦しんだとは思えない、肉体としては、今までに出会ったことのない若さと健康を保っていて、驚きました。でも、その背後には、上記の、もうあきらめた時期と再起を目指した訓練があったのも励ました。「ジョギング等は続かないから、毎日、1~2時間、歩く。自分は、本来、三日坊主。でも、それでいい。何十回も続けたら、大きな石も転がり始める感じでね——」というのが三浦さんが僕に話してくれたメッセージでした。

伝道のためにも、体の鍛錬が必要…と動き出したところで、「チア・オリンピック案」が、チアの体育担当をしてくれている藤井一朗さんから与えられました。これは、自分も含めた、チャーチ&ホームスクーラーの実力アップの身近な目標にいいなと思って、昨年、開催。好評の中に、今年、2回めを迎えたのでした。

#### ドキュメント「チア・オリンピックのトラックで教えられたこと」

台風が過ぎて、澄み切った空気と青空の下、今年の僕の最初の競技は、100メートル走。1年ぶりに再会した10才のA君が、芝生で柔軟してた僕のそばに来て言いました。「稻葉さん、去年の100メートルで肉離れだったんですよね。今年は気をつけてね」。僕は、「え？」と驚きました。よく知ってるナ。10才だけど、ニュースレター、読んでくれてるのかな…とうれしくもありました。そう。昨年は、久々のダッシュを1週間やって、かなり感覚が戻ってきたーと思ったら、練習中に肉離れになりました。その後、2週間休んで痛みもなくなり、大丈夫と思って、本番を迎えました。目指すは、1位。

「ピシッ」。50メートル過ぎたあたりで太ももの裏が鳴り、肉離れとなりました。前回よりは軽く思え、そのまま流してゴールして3位。その後、他の競技も強行しましたが、「イタタタ…」。帰りは辛くて、太ももを曲げられず、ロボットのように歩き、電車では、空いてた席に腰も下ろせませんでした。2日間は、ほぼ寝たきり。痛みが消えたのは1ヶ月後でした。それで、今年の100メートル走の目標は、「1位」ではなく、「ケガをしないこと」でした。

大人の部、「パン！」と号砲が鳴るとき、誰かがフライングしたように思え、「止めようか」と思いました。「ま、トップ目指してないし、いいや」と走り、少し流して、2着。今年は、ケガなくて、良かっ

た！と思いました。

4才になったジョセフは、25メートル走。8月の「1ヶ月間・ジョセフとの父子の旅」に続き、ジョセフも再来日でした。夏には、虫歯の治療を、丸森の歯医者さん、笹川先生にお世話になっていました。「まだ7本あるから、治療を続けたいな…。早い方がいいよ！ 診てあげるから」とのこと、マイページ使ってやってきました。アメリカの医療費は高いので、とても感謝です。ジョセフもまた、運動が大好きで、これも神さまからのあわれみ、祈りの答えかな…と思います。とにかく、一緒に運動公園に行くことをせがみ、平行棒にぶら下がったり、ポールをよじ登るのが好きなのです。最近は、壁に埋め込まれた石に足をかけて登る、登山の練習壁が好きです。

### ジョセフの日本語特訓！

「よーい、バーン！」。ジョセフの走る姿を撮ろうと遠くからファインダーをのぞいてて、びっくりしました。ジョセフは、スタートに気づかず、後ろを見て、背伸びをしています。あ、日本語わかんなかったんだナー。「次はジョセフの番だよ」って言われてたろうに…。「ジョセフ、ラン！」。僕は、遠くから叫び、まわりのみんなにも、せかされて、ようやく気づき、約2秒遅れでスタート。それでも、その後、よく走って、全体の3位の好タイムでした。親としては、最初から走ってほしかったけど、ま、いいでしょう。

今回も、みんなにかわいがられました。暑くて顔を真っ赤にしながら、かくれんぼ等、競技場を走り回り、汗びっしょり。日本には、2週間の滞在でしたが、とても楽しくすごし、日本語もずいぶん、しゃべるようになってきました。それも恵みです。ちなみに、帰国後3週間経った今朝も、「ハナコガネイ！ ハガコガネイ！ ハナコガネイ…」と、チア・オフィスから2つめの駅名を、鼻歌交じりに連呼して、エミリと笑ってしまいました(^^)。

### 計画・準備が肝心！

#### 忘れてた1500メートル

そして1500メートル。今度は、ティーンが1人来て、「稻葉さん、去年、1周早く終わったんだよね」。よく知ってるナー。そう、1周200メートルを7周半しますが、数え間違え、1周短くゴールインして失格でした。それで、次回は、しっかり練習を積んで…と、決意したのが1年前です。

オリンピック1ヶ月前、今年の9月初旬、1500の準備をと思って走り出して、僕はまた愕然としました。「あ、今年、走る練習してなかった…。あんまり、早く、走れない……」。昨年、オリンピック以降も、「105才まで元気に伝道できる体を！」と、エクササイズは行っていました。ところが、種目は、鉄棒や平行棒の懸垂…、主に上半身系が中心でした。

計画性を持って備えることは、ネヘミヤ1-2章で、よく教えられています。ネヘミヤは、まず神さまに祈り、罪を告白するところから、神殿再建の準備を始めました。「どうぞ、あなたの耳を傾け、あなたの目を開いて、このしもべの祈りを聞いてください。私は今、あなたのしもべイスラエル人のために、昼も夜も御前に祈り、私たちがあなたに対して犯した、イスラエル人の罪を告白しています。まことに、私も私の父の家も罪を犯しました」(ネヘミヤ 1:6)。

自分の計画性の無さに気づき、ちょっとびっくり、反省しつつ、そこは人生の良い学びだなと思いました。一方、過去1年、上半身は鍛えられ、逆に、計画的に準備したら大丈夫と再確認でき、それも神さまに教えられたと思い、感謝していますが…。

### 実は、誰でもできる

#### 「懸垂10回」、「腹筋200回」

#### 一神の栄冠を得るために (ピリピ3:14)

鉄棒に励んだのは、1つのニュースの影響です。プロ野球のドラフト選手たち、新人の体力測定で、1人だけ懸垂20回できた…というニュースでした。「あれ、それなら、僕もできるかな」と思い、それが目標になりました。3年前、懸垂をしたら、1回もできませんでした。平行棒懸垂も1回もできず、苦笑い&大ショック。「高校時代は、平行棒懸垂は40回ぐらいできたと思うのに…1回もできなくなるなんて」。でも、時間を見つけて、練習してたらどんどん回復してきました。ドラフト選手のニュースを読んだ頃は、鉄棒懸垂、順手、逆手各10回、平行棒は20回ぐらいはできるようになっていました。

その後も努力を続け、やる度に懸垂を1回ずつぐらい足していくと、回数は着実に伸びます。出張等のスケジュールで2、3週間、中断すると、パワーが落ちるので、また、各5回からやり始め、各18回までいっては、また戻り…、と、鉄棒懸垂各20回を目指したりしていました。そんなこんなで、最初の半年は、懸垂で過ごしてしまいました(^^)。

### 「目標」と「自制」と「祈り」で腹筋を

5月末、コンベンションで撮ってもらった自分の写真を見て、別のショックを受けました。「お腹がぽっこり出ている！ 信じられない」。ここ数年、僕の水着姿を見た妻の和紀子や、温泉に連れていった父や、旧友たちからは「太った、太った」と言われていましたが、お腹が出ているとは、まったく気づきませんでした。それで奮起し、6月からは腹筋を始め、1日10回ずつ足していいたら、最後、1日550回まで進んでいました。体重も約10キロ減。インタビュー記事を読んでて、「1日、300回、腹筋します」とか努力している人々の記事があり、刺激を受けたことも影響しています。腹筋も、「目標」と「自制」、そして神さまのあわれみと恵みをお願いする「祈り」

を持って根気よく進めれば、誰でも、1日200回ぐらいには、回数を増やせます。東北ボランティアに向かうバスの中で励ましたティーンは、ほとんどゼロ回が、今は80回はできるそうです。

でも、やり過ぎは注意。7月末のチア東北サポートの出発日の朝、軽いぎっくり腰。物資をトラックに積み込んでたのですが、オフィスのすみにあった書籍の箱を変な姿勢で持ち上げたら痛めてしまい、その週は、力仕事は自重が必要で、おっかなびっくりの作業になってしまいました。自分で分析するには、多分、短期間での腹筋1日550回はちょっと「やり過ぎ」、そして、LAからの飛行機で長時間座って、疲労のあるところで、早朝、準備運動無しで、変な姿勢で重い箱を持って、、、ということかなと思いました。そんなこんなで、8月はトレーニング無し。

9月に走り始めて、「あれ、この1年、上半身と腹筋は鍛えられたけど、下半身は、ほとんど鍛えてなかっただ…。しまった」と気づいたのでした。それで、今年の目標設定を変更しました。「1500メートルは3年計画に変更。今年は、若手のトップグループから、1周200メートル遅れぐらいでゴールインで良しとしよう」。でも、その後、3週間練習やったら、5分台前半の結構、いいペースで走れました。走る練習は不足してたものの、懸垂と腹筋で、「心肺機能」は、強化されたようです。

しかし、日本到着後、公園で走ったら、また9月初旬に逆戻りで、息切れました。「あれ、飛行機って、こんなに疲労をもたらすのかなー」と驚きました。それから、連れてきたジョセフの時差が激しかったのも予想外でした。毎日、午前2時に目覚め、ご飯を食べさせ、午前3時か4時から散歩に出かけ、近くの西武線の踏みきりで、大好きな電車を2時間近く見続ける3日間でした。そうした中で、迎えた本番。

中盤以降、やはり疲れて9位。でも、目標どおり、1位の堀井勇士君に抜かれたのは最後の1周で、約200メートル差だったので、今年の目標が達成でき、



1500メートル 4才から50代まで、男女42人が全員完走！

感謝でした。来年は、中距離を鍛え、5分台で走ることを目指に臨もうと思っています。

阪神タイガース・スタンリッジ投手から、チアメンバーへ

「順位が悪くても、気にしないで！  
先の者が後になる！」

お昼を食べた後、8月末に収録したスタンリッジ投手から、チアのみんなへのビデオの一部を紹介しました。ヒーローインタビューの時には、「カミサマハ、ワタシタチノチカラデス！」と言うのが、既にキャッチフレーズになっていて、インタビュアーもそれを促すし、阪神ファンの皆さんも受け入れ、その言葉に沸き立ちます。こうした大胆な証しをする前に、神さまはスタンリッジ投手に試練を与え、そして今があるのですが（詳細は、来月発行のマガジンへ。ビデオは、チア・ホームページへ）。

スタンリッジ投手は、高校に入るまで、ホームスクーリングで育ち、日本にホームスクーラー、そして、全国的なサポート団体があることに大喜び。なぜ、ホームスクーリングを続けるべきなのか、靈的&学業的な両面から、熱く話してくれました。そして、今回のオリンピックに関して、特に強調してくれたことが「試合には、勝者と敗者がある。競争には順位がつくけど、順位が悪くても、がっかりしないで！ 先の者が後になるっていうのが神さまの約束だ。トップを目指すけど、びりでも失敗者ではないよ。ベストを尽くしたら、結果が良くなくても、折れない心を持つんだよ。神さまは、みんなを最高に造った。努力の余地はあるかもしれない。でも、失望しないで、神さまからの目的や召しを目指して、ベストを尽くし、走り続けてくれ！」。アーメン！

フィニッシング・ウェル

（最後まで、りっぱに戦い抜き、  
ゴールする人生）

「最後に、全力を出し切ってゴールする」ことができず、悔いが残ったのは、200メートル走でした。聖書が示す、「私は戦いをりっぱに戦いぬき、走るべき行程を走りつくし、信仰を守りとおした。今や、義の冠が私を待っているばかりである」と、フィニッシング・ウェルができなかったのです。

肉離れしないよう、スタートをゆっくりめにしたところ、結構、他のみんなは、びっくりするほど早くかったです。でも、100メートルまで行く前に、まず、若手お父さん（1500メートルでは昨年上位の健脚）を抜きました。残り50メートルで、先を行くのは堀井洋二さん。去年は腰痛ということで、ボランティアスタッフをされてて、足が速いことは、まったくわからなかったのですが、午前中、100メートルでは負けました。チアで働いている長女の瑠都ちゃん情報で、「お父さんは、チア・オリンピック目指して、本格的にトレーニングしている」ということ

で、良かったナーと思ってましたが、5才年上でもあり、負けるとは思ってませんでした。でも、200メートル走でも先を走られて、ちょっとびっくり。150メートルを過ぎたところで減速を感じ、僕の方は、逆にパワーアップで差が縮まっていきました。ジョセフと行く公園の1つに、300メートルあまり芝生だけの公園があります。そこでジョセフにせがまれて、抱っこして3往復ダッシュすることが時々あります。1年経ってみると、200メートル走が楽に走れる力になってるんだなーと思いました。差は、どんどん縮まって、あと約1メートル弱。でも、何となく、「これでいいかな…」と思ってしまい、2位でゴールインでした。着順ではなく、「全力出し切ろう！」と思わずゴールしてしまったことが、とても悔いが残りました。

300メートルの公園では、いつも、最後、ゴールする直前の10メートルでは、最高の全力ダッシュモードに切り替えて、ゴールしてました。それは、パウロのように、人生、死ぬ前に、「走り尽くした！」と言って死ねるように、悔いなく、信仰のゴールを切れるように。人生の途中で失敗しても、最後、全身全霊で、フィニッシング・ウェルできるようにーーと。でも、今回は、最後、全力を出し切らず、ゴールしてしまいました。これは悔しかったナー、と

思い、来年の課題だなーと思っています。

### 重いもの（使命・目的）をクリアにしつつ、全力でゴール！

でも、神様は、もう1つのチャンスをくれました。リレーのアンカーに、グループのキャプテンの堀井卓さんが選んでくれたのです。それで引き受け、「よし、神さま、今年、チャンスをくれた。アンカーの150メートル走に、今度こそ、全力を出し切ろう！」と思いました。「稻葉さん、追いこされないでくださいね」とチームの若手たち。そんな風に言われたことなかったんだけど(^^)。「ま、稻葉さんにバトン渡す時に、差をつけて渡そう！」と盛り上がり、「頼むぜ！」と応じました。

アンカーグループには、馬のように早いB君がいました。今日の200メートル走でも、B君は、足に自信のあるティーンのホームスクーラーたちを、全員ごぼう抜きで、圧倒的な走りを見せてくれました。B君はまだクリスチャンではありませんが、チア・オリンピックを気に入ってくれ、2年連続、今年は平日なのに、大学を休んで参加してくれていました。同じリレーチームのC君（15）がB君に言いました。「稻葉さんだから、楽勝でしょ」。その言い方が、ちょっと、とげのある感じにも聞こえ、B君はちょっと焦って、「そんなこと、目の前で言うなよ…」とたしなめました。僕としては「えー、今まで、そんな風に言われたことなかった。いつもクラス対抗リレーでは選抜され、みんなに期待されてたのに……。今の自分はそう見えるんだなー」と落差を感じました。B君は言いました。「いや、抜くのは簡単ではないんだよ。ここに来るチアのお父さんたちは、違うんだ。ただ走ってるんじゃない。特別に重いものを背負って走ってるんだ。だから、抜くのは、全然簡単じゃないよ」。僕は、そのことばを聞いて、とてもうれしく思いました。（B君は、ただのスポーツデータや運動会以上のものを、感じ取ってくれてるんだー）。C君にもフォローしてあげようと思いました。「ま、C君には1500メートルでも最後、ゴール前で抜かれちゃったしな。しかも、それ2年連続。それで、口もなめらかになってるというわけだな（笑）」。このB君やC君の言葉は、150メートル走を、最後まで悔いなく、全力で走りきろうと思っていた「心」を、さらに燃やす奮発材料にもなりました。神様の栄光を表すという、「目的」も定まりました。

夕方4時、今日最後の競技、リレースタート。幸い、チームの若手たちが早く、断トツ、トップで、アンカーの僕にバトンを渡してくれました。80メートルほど走ったところで「稻葉さん、いいぞー」との声をD君がかけてくれました。そして「B君、来たよー」とも。それを聞いて、僕はさらに加速。さっきのB君の言葉がこだましていました。「チアのお父さんたちは、違うんだ。特別に重いものを背負って走ってるんだ」。そう、重いもの、強い目的を持って、みんな走ってる。子どもたちの魂の行方と、キリスト



最後に、全力を尽くせず、悔いが残った200メートル走。  
セカンドチャンスが与えられ、この後のリレーでは、...  
(写真上：150メートル付近 下：ゴール地点)



馬のように早いB君、友人のD君と共にジャンプ！  
(走り幅跳び 競技者56名)

トの弟子の心を与えることと、世界宣教の使命を持って、神さまに向かって走ってるんだ。このあたりで、いいや…ということはない。最後まで、全力で「走り尽くす」んだ！途中でミスがあっても、それは悔い改めて、後は振り返らない。フィニッシング・ウェルだ！

何も考えずに、ただのスポーツとして走ってた200メートル走とは違い、しっかりと、「重いものを背負ってるんだ！」と目的を意識し、言い聞かせながら、走りました。そうすると、スピードはさらに加速し、ゴールのテープが見え、背後には、2位以下の走者の気配もありません。「やったー！」と両手を上げて、ゴールインでした。「快感！」。後で、見ていた方に、馬のように早い「B君との差は、どのくらい縮められた？」と聞くと、「バトン時と、ほとんど同じ。縮まってないんじゃない？」とのこと。今の僕のトレーニング準備状況から考えると、奇蹟。神さまが、「強い目的をクリアにして走ること」そして、「フィニッシング・ウェル」の心を持って、最後まで全力で走り切ることの意味と喜びを、教えてくれたような気がしました。

なにか、とても満たされた、うれしい気持ちいっぱいでの、今年のチア・オリンピックを終えることができました。チルミニでおなじみのサムエルさんが、タイの伝道地から一時帰国され、空港からチア・オリンピック会場に直行し、最後までみんなを励ましてくれました。チアのオフィスに泊まっていかれることになり、一緒にラーメンを食べて帰りました。ジョセフは電池切れでコトリと眠り、電車の中も、途中寄ったラーメン店でも、チア・オフィスでも、ずっと幸せそうに寝てました。時差は少し直って、午前3時起きでした(^^;)。

### 天国に向かった多真恵ちゃん

藤本多真恵ちゃんが、オリンピックの前日に召され、召天記念式が10月8日、とてもあたたかい雰囲気の中で行われました。約100人の参列者、別れを悲しみつつも、懸命に生きた多真ちゃん、そして、

多真ちゃんを全力で看護し続けた藤本ファミリーの姿にふれ、とても励まされることとなった式でした。

聖書からのメッセージを語ったピリポさんが言いました。「藤本さんたちは、妊娠中に、多真ちゃんが病気であることを知り、中絶の選択を示唆するお医者さんの助言も断って出産、懸命に介護しました。この時代にあって、模範を示しました」。その通りと思いました。

藤本さん家族がそれぞれ最後に語ったあいさつも感動的でした（34、35ページ参照）。式後、皆さんの祈りへの心からの感謝を伝えてくださいと言いながら、以下のように話してくれました。

「（博樹さん）危機的な状況が続く中、本当に不思議な数値の回復があり、今、誰かが祈ってると確信しました。由美は看病で徹夜が続いて、その体力、気力を支えたのも、皆さんのお祈りや応援のお陰です。アメリカ出張中、危篤状態となり、何とか生きている多真恵と会いたいと思って祈りましたが、そのことも奇蹟的に実現して。また、アメリカのホテルで、聖書を読みながら、エベソ書が心に響き、夫として、妻の由美を、より深く愛し、支えることも示され、それも私たち夫婦のきずなにおいて、とても大きなプラスだったし。コンベンションの時以来の皆さんの祈り、心から感謝なのです」

「（由美さん）多真ちゃんのお陰で、病院の皆さんやボランティアの皆さん、医療器具の会社の皆さん、タクシーの運転手さんほか、いろいろな皆さんに、伝道の機会が与えられました。多真ちゃんの使命の一つだったのだとも思います。それから、やっぱり、ホームスクーリング、やってて良かった。介護に心身共に打ち込めたのは、4人の子どもたちが、食事の準備や、そのほかの家事一切をやって、私を助けてくれたからです。ホームスクーリングでなければ、ここまでできなかっただと私は思っています。多真ちゃんとの天国での再会を楽しみに生きていける。また、皆さん、励まされたって、おっしゃってくれて、少しでも役に立てたと感じることが、励ま



藤本ファミリーとみんなに愛された多真恵ちゃん

でした」

短くとも、すごく輝いた命だったし、また、藤本さんご家族の献身的なサポートの姿勢に、心打たれます。藤本さんご家族、祖父母の皆さん、ご親戚の皆さんへのイエス様からの深い慰めと癒しがありますよう、続けてお祈りいただければ幸いです。

## 白馬へ

そのように、神様に励まされながら、この3週間は、マガジンの編集や白馬の準備等にくれました。今年の基調講演者の原稿を訳したりしながら、励まされています。デービス＆レイチェル夫妻は、アメリカのホームスクーリングセミナーに引っ張りだこで、メールを出しても、週末はほとんど返事がありません。エリザベス・スミスさん（昨年の主講師）の紹介だけあって、聖書的にとても励まされます。デービスさんは、元飛行機エンジニア、また、現在、創造科学等を中心とした出版社社長であり、次回、マガジンで紹介予定の原稿を読むと、聖書的で、理路整然としてます。一方で、今回、NL掲載の文章のように、とても家族の絆が深く、楽しいホームスクーリングを展開しておられます。楽しく、温かく、そして、ちょっと、新しい感じなので、今回は、先にそちらの原稿を紹介しますね（12ページ以降参照）。

奥さんのレイチェルさんは、興味深い講演候補がたくさんあって、6講演に絞るのが大変でした。クリスチャン系の大手出版社（ティンデル）から、『子どもたちに伝えたい天国からの話』を出版されています。心にしみいるストーリーを構成する賜物が豊かなようで、楽しみです。7人の子どもたちのホームスクーリングでの苦労もされていて、その意味でも共感を呼び、また、実践的なセッションになると思います。

「学習障害の専門家のジョイスさんとは、どのように出会ったのですか」と、最近、質問を受けました。7月のチア・カリフォルニアのコンベンションで出会いました。日本の様子を全体集会でレポートさせていただいた後、接待役の方から「Hiroと会いたいという講師の方がいるよ。午後の彼女のセッションが終わったら、会いたいと言ってたけど」と紹介されました。

その日は、震災スライドショーを徹夜で準備していたので、いったん家に帰って休みました。疲れて、もう行くの止めようかなと思いましたが、ジョイスが待ってるかもと思い、車で30分の会場に戻りました。ちょっと時間に遅れて、もういないかな…と受付を訪ねたら、そこにいたのがジョイスです。最近、神様の召しを感じ、日本のミッションに重荷を持っているとのことでした。ジョイスが専門とする「学習障害（LD）」について、実は慎重に考えてきました。アメリカでは、5人に1人と言われ、ニーズは高い一方、安易に病名がつけられ、そこで安心し、病気なんだからと、しつけ等、なされるべきことが

なされなかったり、あるいは、あきらめられて、本人が持っている可能性が閉じられてしまったりする事例について、よく耳にしていたからです。

一方で、ニーズはあり、我が家でも、エミリが7才の頃、読書に障害があるのでは…と教会学校で言われ、心配した時期がありました。でも、チア・カリフォルニアで、ある専門家のセッションを取ってみたら、「みんなユニークで、タイミングが違うから、気にしないで」というメッセージが基本でした。実際、その翌年には、エミリは、「趣味は読書」という感じになって、まったく心配いりませんでした。そのあたりを、3時間ぐらい、ジョイスにぶつけてみて、しっかりしてると感じ、今回、招聘することにしました。これまで、チャーチスクールを中心に用いられ、「学習障害」について、約400校をネットしたりしています。そうした評判が拡がり、今夏、初めて、チア・カリフォルニアでの講演がありました。アメリカは実力社会で、学位や人間関係等あっても、実力が無いと、そこまでは拓がらないので、力がある方だと思います。初の日本講演ということで、張り切って準備されています。チアの基調講演者としては、初の専門分野となる医学、特別支援的な情報はもちろん、靈的、聖書的にも、きっと励まされるセッションとなると思います。どうぞ、お祈りください。

他にも、たくさんの良きセッションが準備されています。是非、情報を集め、これからチャーチ＆ホームスクーリング展開を、充実させてくださったると思っています。また、道中を含めて、良き家族、ご友人との絆を深める場とされては…と思いました。白馬は遠い方が多く、エネルギーがかかると思います。でも、その分、得るものも多いと思いますので、神さまにあって、未来の子どもたち、孫たちの魂や、世界宣教への価値ある、そして緊急性のある投資となると思います。ぜひ、おいでくださったると思っています。お祈りとご参加のほど、よろしくお願ひします。

今月もたくさんの恵みを体験させられました。チア・オリンピック、本当に楽しかった！ そして、多真ちゃんや洗礼式を含め、多くのことを考えさせられ、励まされています。皆さんと共にこうして歩める、神さまからのあわれみを心から感謝しています。

「私は、自分はすでに捕らえたなどと考えてはいません。ただ、この一事に励んでいます。すなわち、うしろのものを忘れ、ひたむきに前のものに向かって進み、キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の栄冠を得るために、目標を目指して一心に走っているのです」（ピリピ3：13、14）

皆さんの祝福を心から祈っています。

感謝しつつ

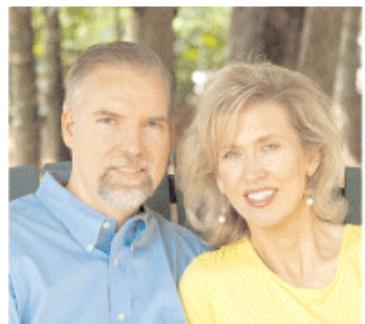
稻葉 寛夫



基調講演者 デービス・カーマン（アポロジア・信仰継承・教育出版代表）  
レイチェル・カーマン（『子どもに話す時、神が願う、あなたに  
聞いてほしいこと』著者）  
ジョイス・イノウエ（学習障害のスペシャリスト、  
クリスチャン教育セラピードラマ代表）

#### ■ テーピス＆・カーマン氏

【講演タイトル】「嵐の中で主を賛美する」「ホームスクールをするための良い点を一つ挙げてください」「妻への良き助け手となるために」「申命記6章＆親を支える、さらなる聖句」「ホームスクーリング、未来の城を築くために」「ホームスクーリング父さん（母さん）のハートテスト」



## ■レイチェル・カーマンさん

【講演タイトル】「私が？ ホームスクール？」「子どもに話す時、神が願う、あなたに聞いてほしいこと（同名著書のエッセンス）」「子供に通じる心（HEART）を持つ方法」「ホームスクール・生き延びるだけでなく、飛翔するために」「ペースと根気」「どのようにして自我に死ぬか、どのようにそれを証しつつ、生きていくか（ガラテヤ2：20）」



## ■ジョイス・イノウエさん

【講演タイトル】「特別な学習訓練を必要とする子供を教えるときの十戒 パート1 & 2」「学習障害：なぜ私の子供には学習困難があるの？ どうすればいいの？」「注意欠陥障害：子供が自分の注意すべきこと以外のその他すべてに気を取られるとき」「神は失敗をされない：私の子どもは「恐ろしいほどに素晴らしく」造られた存在か？」

※各講師陣の講演内容は、18ページ以降に掲載しています。

★早期申込特典!!★  
書籍等プレゼント

11月5日までにお申込＆入金済みの大人の方に、聖書に基づく教科書「聖書6」「聖書10」「聖書11」(各2800円)、「りか1」「りか2」(2310円)、DVD聖書(日本語字幕版)、単行本「ちょっぴりホームスクーリング考えてます?」「チャーチ&ホームスクーリング入門」(各1680円)、「レガシー」(1980円)の中から、いずれかひとつ、もれなくプレゼント! このチャンスをお見逃しなく!

LIT  
(リーダーズ・イン・トレーニング)  
定員になりました！

UTは定員となりました。ただ、ご事情がある方は相談に乗りますので、チア事務局まで遠慮なくご連絡ください (TEL 042-318-1807、FAX 03-6862-8648、Eメール: office@cheajapan.com)。

サメに片腕を奪われた天才サーファー 彼女と家族の感動の実話  
**「ソウル・サーファー」ブルーレイ/DVD発売記念  
 特別試写会&DVD販売会 開催決定!!  
 11/23 夜  
 13才のホームスクーラーが発信する神さまの希望の計画**

今年6月、日本でも上映された映画「ソウル・サーファー」。そのDVD/BRが今年12月5日に発売されるのを記念し、「特別試写会&DVD販売会」が白馬セミナー中に開催されます。

神さまの希望を届ける感動の映画です。ぜひこの機会にご覧いただき、多くの方にお薦めください！

12月5日までに予約された方に限り、DVD「ソウル・サーファー」(3,360円) +書籍『ソウル・サーファー』(697円) のセットを特別価格の3,360円（定価4,057円）で販売します！（送料別。発送は12/5以降）。白馬セミナーでも予約を受け付けます！



12月5日(水)  
 ブルーレイ/DVD発売

(C) 2012 Buena Vista International.

**第7回 チア・にっぽん杯  
 読書感想文大会 募集中！締切延長！**

良書を読むこと、感想文を書くことは、神さまの栄光を表す力となります。昨年も40作品以上の素晴らしい作品の数々が寄せられました。今年もたくさんのご応募、お待ちしています！

- ◆対象作品：チア書籍（どれでもOK）、あるいは三浦綾子作品（どれでもOK）、「ソウル・サーファー」もOK
- ◆部門：（1）小学生の部（400～1600字）（2）中高生の部（800～2000字）  
 （3）一般の部（800～2000字）
- ◆締切：11月13日（火）
- ◆発表・授賞式：11月22日（木）夜7時 白馬セミナー会場（予定）
- ◆送り先：〒189-0013 東京都東村山市栄町1-5-4-103 チア・にっぽん事務局 「読書感想文係」  
 （※メールでも受け付けています → [office@cheajapan.com](mailto:office@cheajapan.com)）

**第6回 「グランプリ！大会」開催！**

自作のレースカーで競い合うグランプリ大会を、白馬セミナーで開催します！ 白馬でもキットを販売しますので、2日目夜までに完成させての参加もOKです（500円）。参加資格は、今年度制作のレースカーです。

昨年に引き続き、今回も「スピード部門」「美術部門」の2部門で競います。「美術部門」コンテストの郵送受付は11月10日まで。郵送先はチア事務局へ（白馬参加の皆様はご持参ください）。作品は白馬セミナーで展示し、優秀作品は表彰させていただく予定です。

レースカーキットは、誰でも作れます。形や色も工夫できます。車軸は差し込むだけなので、トンカチ必要なし。お母さんや小さい子どもたちでもできる楽々セットです。気軽に、こぞってご参加ください！ 工作・技術の向上はもちろん、素晴らしい家族の思い出にもなりますよ！

現在、キットの予約申込を受付中です。ご希望の方は、お名前、ご住所、お電話番号、希望個数を明記の上、メール ([office@cheajapan.com](mailto:office@cheajapan.com))、またはFAX (03-6862-8648) でお申込みください。

## 東京／大阪チャーターバス ※完全予約制

1人でも多くの方が参加できるよう、チアからのせいいっぱいの応援です！※先着順

### ●東京往復

(大人/中高生¥7,000、小学生/幼児¥6,000)

11/22 東京：午前8時発 ホテル：午後2時着  
11/24 ホテル：午後1時半発 東京：午後6時着

### ●大阪往復

(大人/中高生¥8,000、小学生/幼児¥7,000)

11/22 大阪：午前7時発 ホテル：午後2時着  
11/24 ホテル：午後1時半発 大阪：午後7時半着

## ホテル送迎バス

(長野・白馬町・南小谷・白馬乗鞍)  
※完全予約制

### <行き>

- 長野駅 12:10発
- 南小谷駅 11:50発、13:05発
- 白馬町 13:50発
- 白馬乗鞍 14:45発

### <帰り> ホテル出発時間

- 長野駅行き 13:20発
- 南小谷駅行き 13:50発
- 白馬町行き 14:50発

ご希望の方は、11月16日(金)までに下記申込用紙あるいはEメールにてお申し込みください。

格安チャーターバス(先着50名) & ホテル送迎バス申込書  
FAX 03-6862-8648 Eメール office@cheajapan.com

代表者お名前( ) 乗車人数( ) 名 携帯番号( )

ご希望のバスに○をつけて下さい 東京バス 大阪バス ホテル送迎バス(※↓)

※ホテル送迎バスの方は、ご希望の場所をご記入ください。 行き( ) 帰り( ) 行き

## 一般的の交通手段のご案内

### ☆行きの手段(11月22日) ※(送迎=ホテル送迎バス:完全予約制)

- ・新宿より高速バス(片道¥4700、往復¥8500) 京王高速バス:予約制 <http://www.highwaybus.com>、03-5376-2222  
A 新宿駅西口発 8:00 ⇒ 白馬町着 12:44 ⇒ 白馬町発(送迎) 13:50  
B 新宿駅西口発 9:00 ⇒ 白馬町着 13:44 ⇒ 白馬町発(送迎) 13:50

### ・新宿より電車(特急)(片道¥7560~)

- A 新宿駅発(あずさ3号) 7:30 ⇒ 南小谷駅着 11:42 ⇒ 南小谷発(送迎) 11:50  
B 新宿駅発(スーパーあずさ5号) 8:00 ⇒ 松本駅着 10:38 ⇒ 松本駅発(JR) 11:08 ⇒ 南小谷駅着 12:59 ⇒ 南小谷駅発(送迎) 13:10

### ・東京より新幹線(片道¥7770~)

- A 東京駅発(あさま513号) 9:52 ⇒ 長野駅着 11:28 ⇒ 長野駅発(送迎) 12:10  
B 東京駅発(あさま515号) 10:24 ⇒ 長野駅着 11:51 ⇒ 長野駅発(送迎) 12:10  
C 東京駅発(あさま517号) 10:44 ⇒ 長野駅着 12:33 ⇒ 長野駅発(路線バス:白馬乗鞍行き) 13:10 ⇒ 白馬乗鞍着 14:45 ⇒ 白馬乗鞍発(送迎) 14:45 (※多少、集会に遅れますか、予備候補です)

### ・名古屋方面より電車(片道¥6620~)

- A 名古屋駅発(ワイドビューしなの5号) 9:00 ⇒ 長野駅着 11:52 ⇒ 長野駅発(送迎) 12:10

※ホテルは駐車場完備ですので、自家用車でもOKです(アクセス情報→ [www.hgp.co.jp/inf/Z01/hgp/access.html](http://www.hgp.co.jp/inf/Z01/hgp/access.html))。

### ☆帰りの手段(11月24日) ※ホテル発→(ホテル送迎バス:完全予約制)

- ・新宿まで高速バス:ホテル発 14:30 ⇒ 白馬町着 ⇒ 白馬町発 15:35 ⇒ 新宿西口着 20:10
- ・新宿まで電車(特急):ホテル発 13:50 ⇒ 南小谷駅着 ⇒ 南小谷駅発(あずさ26号) 14:22 ⇒ 新宿駅着 18:36
- ・東京まで新幹線:ホテル発 13:20 ⇒ 長野駅着 ⇒ 長野駅発(あさま532号) 14:59 ⇒ 東京駅着 16:32
- ・名古屋まで電車:ホテル発 13:20 ⇒ 長野駅着 ⇒ 長野駅発(ワイドビューしなの18号) 15:00 ⇒ 名古屋駅着 18:01

自馬セミナー末日記念 先行掲載 パート1

# 父親がなすべきことは？

## デービス・カーマン



しばらく前のこと、私は、ニューヨークのクリスチヤンカレッジで学んでいる息子から電話をもらいました。授業のこと、異性のこと、お金が足りないことなどを話した後で、息子は電話で本当に話したかったことを語り出しました。

「お父さん、実はとっても寂しいんだ。夕食の時にみんなでテーブルを囲んで、わいわい話していた頃が懐かしいよ。離れてみて分かったんだけど、我が家がどれほど僕の成長のためにいい影響を与えていたかつてね。自分の意見を、効果的にはっきり伝えるためにも、良い準備になったしね。お父さんみたいな夫や父親に、僕になりたいよ」

ワオ！こんな言葉を聞いたら、父として、心が喜び踊ります。私は以前、子どもに、世界観を訓練する最も大切な時間は、家庭で決めた勉強の時間帯だと思っていました。確かに、その時間は大切でした。しかし、その後、何週間も何ヶ月にも亘って、息子チャーチとの会話をよくよく考えていたところ、申命記6：7の単純な真実が、新しい力をもって私の心を打ったのです。日々の生活において、いたってありふれた行為を子どもたちと一緒にに行う中で、私たちは子どもたちに最も深遠な教えを与えていたのです。たとえば、それは一緒に夕食を囲むといった、普通の風景の中で——。つまり、目覚める時に、道を歩く時に、家で座る時に、夜寝る時に、私たちは最も大事なクリスチヤンとしての生き方を子どもたちに教え、模範を示しているということが分かったのです。

### 起きる時も

朝、皆さんは1日を始める前に、普段何をしていますか。もしかしたら、その日の予定をカレンダーでチェックしたり、1日のなすべき仕事を確認するかもしれませんね。まず、子どもたちが同じことをするよう助けてあげて下さい。朝なかなか起きない息子さんに、こう言ってみてはいかがでしょう。「さあ、起きる時間だ。神さまは今日もお前に素晴らしいご計画を準備してますよ。お父さんもそれを知りたいよ」。そして、息子さんのスケジュールを確認し、その日やるべきことをチェックして、意味ある学習をする備えをするのです。もちろん、1日を始める前の励ましと共に——。

### 道を歩く時も

職場で長く厳しい1日を過ごした後でも、家族を外に連れ出すことを思いとどまらないで下さい。散歩でもハイキングでも、サイクリングでもいいです。植物あるいは動物の不思議について語り合いながら、神さまの創造物を直接、観察してみて下さい。もし、娘さんが色とりどりの花に目を奪われ、熱心に興味を示すようなら、立ち止まつてもっと近くで観察するようしましょう。そして、家に戻って、今日見た花についてインターネットで調べ(もちろん、娘さんと一緒に)、自然界の観察日誌を書きとめて下さい。

### 家に座る時も

皆さんの家のキッチンは、一体何回くらいミニ実験室となったでしょうか？父親の皆さん、これは皆さんの分身が、熱狂した科学者として特別出演するチャンスです。皆さんもきっと、石鹼と重曹を混ぜたものに酢を注いで、手製の火山が噴火し、溶岩のようにあふれ出てくるのを見るのが好きでしょう。科学の実験は、お父さんの助けがあることで、もっと楽しくなります。

### 父親：プロジェクト・エンジニア

私は、誰かが、今回のような記事を読みまくって、子どもと実際にできる活動のアイデア集を刊行してくれないか、とよく願ったりします。その本のためにも、私は皆さんに、我が家の親子関係構築プロジェクト(それはまた楽しいプロジェクトですが)の中から、実践的な例を挙げようと思います。あなたが創造力豊かなタイプで、もうたくさんアイデアがおありましたら、以下は、読み飛ばして下さってOKです。

数年前、幼い息子の2人が、紙飛行機を作りたいと何度も言ったものですから、妻と私はホームスクールのスケジュールに、この新たな興味を取り入れようと考えました。専門教育を受けて機械エンジニアになり、最初の仕事として軍用機のテスト飛行をしていた私は、子どもたちと同じくらい紙飛行機作りに熱中しました。「1日につき1つの紙飛行機で満足すると約束できるなら、お父さんは1年間、平日の毎日、1つずつ、新しい紙飛行機のデザインを考えてあげるよ」。息子たちにそう約束しました。

お母さんによって制定されたルールはもう1つ。それは、「午後3時になるまでは、紙飛行機は作れません」というものでした。そうでないと、息子たちは、午前中の勉強や自分がなすべき家事や仕事の責任を果たすことが難しくなるだろうと思ったからです。

最初の数週間は、本当にうまく行きました。10個から15個くらいは、オリジナルの紙飛行機デザインを考えるのは、そんなに難しくなかったです。一方、息子たちにとっては、ちょっと苦労した週でした。朝、待ち切れずに私のオフィス部屋に来るものですから、私は「午後までは待たなくてはいけないよ」と諭さなければなりませんでした。そして、きっかり3時になると、私の部屋に走りこんでくるのです。新しい飛行機を息子たちと一緒に作るのは、本当に素晴らしい時間でした。もちろん、息子たちは「夕食の後、もう1つ作りたい！」とお願いしてきましたが、私は優しく「1日に1つの約束でしょう？」と言い聞かせました。

さて、最初の1ヶ月が過ぎ、息子たちのおもちゃ箱は、飛ばすための飛行機でいっぱいになりました。けれども、私の任務はこの時点で高度になってきていたのです。インターネットで新しいデザインを探し求める時間が長くなり、カッコいい飛行機の本を購入するようになりました。その本には、ミニチュアだけれども大きくて、しかも驚くほど創造的な紙飛行機の作り方が載っていました。中でも私たちのお気に入りは、ポスターサイズのパネルを用いた、ツーバイフォーエフ法（枠組み壁立て式工法）の飛行機を1つ作り出すことでした。私たちはこのモンスター飛行機を、交代で2階のテラスから飛ばして遊んでいましたが、こんなものには誰もぶつかりたくないでしょうね。

1年間を通じて私たちは飛行機作りに精を出し、飛行機の箱は5つかそれ以上になりました。息子たちは今でも時々、その紙飛行機で遊んでいます。これらの箱は、息子たちと絆を築いた日々の懐かしい記憶を呼び覚まします。

さらに、私は過去20年間に亘って、子どもたちと一緒に大人用サイズの砦、秘密基地を3種類も作りました。最初の1つは、上の息子たちがまだ4才と2才の頃のものです。私は彼らが幼かった頃の、特に、この砦を作った時を思い出しては、感傷に浸っている父親です。1年はあっという間に過ぎ、私たちは仕事の都合で引っ越しすることになりましたが、私はその建造物を残していくつもりは毛頭ありませんでした。引っ越し用のトラックに載せるため、私はそれを細かい部分に分けました。結局、ノースカロライナ州のシャーロ

ットに落ち着くまで、私たちは何度か引っ越しをしましたが、その度にこれらを持ち運んだものです。

そのうち、男の子たちも大きくなってきたので、私たちは娘たちを巻き込んで、その砦に、子ども部屋を増築するという家族の計画を立てました。巨大な砦のうち、私たちの自慢は、エンジニアリングタイプの砦です。最近の住居に引っ越してくるまでの丸々10年もの間、この砦は子どもたちがエネルギーを発散するのにとても良い場所でした。

さて、引っ越しする度に、新居で最初に行われた父子共同プロジェクトは何だと思いますか？ もうお分かりですね。新しい砦の開発です。最新の砦は少しばかり創造性にあふれています。そして、7年が経った今も、よく子どもたちは遊んでいるのです。

皆さんに最後にお分かちしたいアイデアはこれです。子どもと一緒に、コーンホールボードを作ることです（訳注：コーンホールとは、木箱にあけた丸い穴にコーンなどが入った豆袋を投げ入れていくつ入ったかを競うゲーム）。私は、週末を利用して作れば、せいぜい3週間もあれば完成できるだろうと考えていました。私の一番の目的は、誰もが楽しめる、比較的楽なプロジェクトを実行することで、子どもたちとより絆を深めることでした。ところが、今でもよく友達に冗談で言うのですが、「楽」だと思われたこのプロジェクトは、結局、切ったり、釘を打ったり、ペイントしたりして、丸々ひと夏かかってしまったのです。今でも、この作業自体にどんな意味があったかは不明ですが、プロジェクト自体は、意味あるものだったと思います。おかげで、私は一番の目的を果たすことができました。作業を通じて、私は子どもたちとの絆を強める良質な時間をたくさん持てたのですから。それだけでなく、私たちは今でも、この古き良きゲームボードを使って家族で楽しんでいます。

### 夜寝る時も

さあ、1日を終える秘訣と言えばこれです。就寝前の読み聞かせですね。まだ幼かろうと、少し大きくなっているようと関係ありません。子どもというのは、お父さんが声を出して本を読んでくれるのが、大好きなのです。良い読み物を探し出してきて、皆さんがどれだけ読書が好きかを示して下さい。これがポイントです。声色を変えながら表情豊かに読み、あたかも登場人物たちが生きているかのように表現することです。想像力豊かに、ドラマチックに自由に表現してみましょう。きっと、子どもたちも大喜び間違いなしです！

何か機会を作って子どもたちを教え、訓練することも大事です。と同時に、家庭生活で起きるごくありふれた事柄を、少し意識して用いるなら、子どもたちとの良い関係が、さらに強固で豊かな関係に変えられていくでしょう。そして、皆さんとお子さんたちは、今から永遠に至るまで、自分たちの努力の賜物を手にすることになるでしょう。

白馬セミナー来日記念 先行掲載 パート2

## 誰か、私の心を知ってましたか？

レイチェル・カーマン



私がどのようにしてホームスクーリングへ足を踏み出したのか、そのことを短くお分かちするなら、いたってシンプルです。たくさん泣き叫ぶ体験の連続だったということです。

私は学校が大好きでした。公立高校で教えていたのですが、閉じこもりの生徒に指導したり、とにかく教えることが大好きだったのです！でも、子どものためには家にいたいと強く願っていました。それも、チャールズが生まれるまでの話ですが…。チャールズが生まれて、木々の葉っぱが色づき始め、新学期になり、スクールバスが走り始める頃になると、私の情熱は沸き立ち、教職への復帰をすでに夢見ていたのです。

当時、私たちはオハイオ州に住んでいました。ある日、デービスが新しい隣人に挨拶をしに出かけた時のこと、彼は帰って来ると、いきなり私が聞いたこともない言葉を口にしたのです。その言葉は、その後の私たちの人生を180度変える言葉でした（それから、5年後に展開することになるのですが）。その言葉こそ、「ホームスクーリング」です。

間もなく、私はホームスクーリングをしている他の隣人たちを知ることになります。そのお母さん方を見て、普通のお母さんなのに…と思いました。特に何か優れているというわけでもなく、教育への情熱もなく、学校に連れて行く気力もないから、家にいさせるのかな…と思ったのです。彼女たちはきっと我が子を手放せない母親たちで、子どもたちにそれぞれの人生を歩ませたくないんだわ、そう私は考えました。

でも、その実際の姿にふれて、私の間違いが、はっきりと分かりました。

神さまはとても良いお方です。その後、私は彼女た

ちが、夫を愛し、子どもを愛し、何より神さまを愛する女性たちであることを知るようになりました。彼女たちは別に変わり者でもなんでもありませんでした。私は彼女たちの本質を理解しました。変な人たちではなく、むしろ、神さまのご計画のすべてを全うするために、喜んで自分自身を犠牲にする神の器たちでした。彼女たちにとって、神さまの存在や言葉は、現実だったのです。

### 一步前へ

その後、アクロンから引っ越す時がきました。新居を選ぶうえで私たちが最優先にしたことは、良い学校が近くにあるかどうかです。私の頭にはしっかりとした進学プランがありました。もちろん、大きな黄色のスクールバスもその中に含まれていましたが。

いよいよ、私は以前の自分の生活を取り戻す年を迎えたのです。そして、こんな夢を抱きました。聖書研究会に復帰して、家もきちんと掃除して、いつもきれいな状態にしておこう。そうそう、友人たちともランチがしたいわ。この夢は完全にうまく行くかに見えました。

チャールズの入園手続きを済ませ、私たち夫婦は彼を受け持つ先生のために祈り始めました。ところが、体験入学日についに出会った先生を見て、私たちはがっかりしてしまったのです。後になってデービスが言いました。「あれが、祈り続けてきた先生なのかい？祈ってきた先生とは、ずいぶん、程遠いのだが…」。私も同感でした。

とはいって、そのあたりを我慢して、そのまま入学させました。デービスは息子のチャールズと近所の男の子を連れて、朝、会社に向かう途中に幼稚園に送り届け、帰りは近所のお母さんがバスの停留所まで迎えに行き、家に送り届ける予定でした。すべては滞りないように見えました。

### 黄色いスクールバス

初日、私はチャールズの洋服に809という番号札を縫い付けました。彼の帰りのバスの数字で、縫い付けるように指示され、その通りにしました。彼は新しい冒険にわくわくし、満面の笑みを浮かべていました。その日の午後、近所のお母さんが犬と自分の息子を連れて、丘を下って来る姿が目に入りました。ところが、一緒にいるはずの私の息子が見当たりません。「彼はバスに乗っていなかったの」。そう彼女は言いました。

私はあわてて家に駆け込み、幼稚園に電話しました。秘書が答えて言うには、「ああ、きっとここに座って

いるのが、あなたの息子さんですね」。

2日目、デービスは息子と近所の子を連れて幼稚園に行き、しっかり正しいバスに乗せてほしいと、先生にきっちり話をしました。その日の午後、入園2日目を終えた息子を迎えて、私は出かけました。ところが、私が目にしたのは、またもやお隣さんと犬とその息子さんで、私の息子はどこにもいなかつたのです。

「息子さんはここにはいませんね」。電話に出た幼稚園のスタッフは、そう答えました。「きっと、間違ったバスに乗せられたのでしょう」

デービスは完全に頭に来ていました。彼は園長に話に行き、息子の服にちゃんとバスの番号札を縫い付けてあったにもかかわらず、先生が連続して2日も間違ったバスに息子を乗せたことを指摘しました。でも、園長は担任を変えることには消極的でした。「まあ、何とかなりますよ」。何とかなるだって!? 息子が、間違ったと気づいて、もし途中で降りて迷ったら、どうなっていたことでしょう。もし、誰かが彼を誘拐していたら……。もし……。

結局、私たちはチャールズを幼稚園に迎えに行くことにしました。登園から13日目、デービスは休暇を取り、チャールズのクラスを見に行きました。それを見た彼は、こう言いました。「なんか悪いことが起きてたわけじゃなかったよ」というか、意味あること、何もしてないんだよ」

こうして、デービスは公立校から息子を引き戻すために、過激な方法を選択することにしたのです。

### じゃあ、どうする?

私が恐れていたのは、この選択肢です。私は、自分の計画とライフスタイルを守るため、あらゆるオプションを調べ上げました。私立の学校にも片っ端から電話し、第2プランも練り上げました。

その時、デービスはこう尋ねてきたのです。「ホームスクーリングってどうだろう?」

「ええ、そうね、素晴らしいでしょう。でも、はっきり言わせてもらうと、あなたは仕事に出かけて、私は子どもと1日中、顔を突き合わせて、息が詰まるわ。これじゃあ、今までの生活に逆戻りじゃない!」。私はつい口を滑らせてしました。

それでも夫は忍耐深く、優しい口調で続けました。「まだ考えの段階だよ。僕たちは何ヶ月もチャールズの先生のために祈って来たけど、1つ、気づいたことがあるんだ。僕たちは君のためにもっと祈らなくちゃいけないってね」。

彼の言葉は、私の頑なな心を打ち碎くハンマーのようでした。鈍感になってしまった私の感覚にショックを与え、長いこと鳴っていなかつた目覚まし時計のように、私を呼び覚ましたのです。聖霊は夫を通して私に語り、私の心を真っ直ぐに貫きました。私は言葉もありませんでした。

初年度

告白タイムです。ホームスクーリングを始めた時、正直言って、私の心は子どもに向いてはいませんでした。もちろん、心から愛していましたけれども、私は自分の人生を取り戻し、本来の自分に戻る準備を進めていました。当時の私は、子どもを天から委ねられた存在、あるいは神からの祝福、贈り物とみなしていかつたのです。いや、そうじゃない。多分、口ではそう言っていましたし、思ってもいました。でも、実質が伴っていなかつたのです。私の心からの思いではありませんでした。私の堅く、殻のような心の中にあったのは、ただ自分のことだけ…。

私たちがホームスクーリングを始めた最初の一歩は、大雑把なものでした。私の第1の優先順位は、チャールズが読めるようになること。ある人が、チャールズは読むことに熱心だけれども、遅れていると語ってくれたことは、良かったです。それでも、チャールズと私は楽しい時を持ちました。これまで以上に一緒に笑い、私は彼が大好きだと発見したのです。その年の12月、デービスは私たちを見て、こう言いました。「君とチャールズはさらに親しくなってきたと思うよ」。それが、できたのでしょうか?

心はどこに!

1997年の春、ホームスクーリング・コンベンションに参加した私たちは、エリヤカンパニーのクリス・デービス氏の分科会に、文字通り、流されるように、期せずして参加しました。実際、どの分科会に参加するか、ほとんど考へてもいませんでした。ところが、その分科会で、私たちの世界観、姿勢、そして結果的に、私たちの人生が変えられたのです。最終的には、私たちは2人とも涙を流し、聖霊によって、私たちの人生における神さまの召し、ホームスクーリングの心を確信させられることになりました。まさに、聖霊のみ業だったと思います。

皆さんも、自分の心を回復させることができます。たとえ失っていても、見つけることができます。たとえ心が痛んでいたとしても、必ず癒されます。最も偉大な医者が、あなたを待っているのです! ちょうどオズの魔法使いのプリキ職人のように、私は真新しい心を手にしました。新しい心を与えた私は以前よりも無力で、傷つきやすく、そんな自分を率直にさらけ出しています。同時に、より多くの幸せを授けられ、以前よりもっと喜びにあふれ、かつて自分が考えた、どんなプランよりも満たされているのです。

おそらく、皆さんもまた、自分がそこに立つとは思いも寄らなかった場所で、本来のご自分の召しを発見されたかもしれません。あるいは今、子どもとの関係に虚しさを感じておられる最中かもしれません。子どもを教育するための基準は満たされているかもしれませんのが、まだ子どもたちに皆さん的心を与えておられないかもしれません。心を回復する実践的なステップを取る準備はできていますか。イエス? それなら、さあ始めましょう!

白馬セミナー来日記念 先行掲載 パート3

# 学習障害とこの世のウソとホームスクーリング ～ 聖書的な対応のポイント ～

ジョイス イノウエ



## 学習障害が許される理由

私たちは、学び、教育を授かる者として神さまの手で創られました。おそらく、神さまは私たちの心のすべての領域に、「神さまを知りたいと切望する思い」を与えたため、日々のすべての学習や生活を通して、意識・無意識に関わらず、神さまを見出そうとしているのだと思います。でも、私たちはしばしば不思議に思います。教育が神にとっても重要であるならば、なぜ、神さまは学習障害を許されたのでしょうか。なぜ母親の子宮にいる段階で、神経機能低下が許される赤ちゃんが生まれることを許されたのでしょうか。これらの難しい質問に答えるには、すでに皆さん気が知っていることが役立ちます。

1つは、神さまは最高のお方であり、全てを司っておられること。2つめは、神さまは決して失敗しない方であること。そして3つめが、エレミヤ29：11にあるように、神さまは1人1人に良い計画をお持ちで、それは将来と希望を与えるためだということです。

私たちの心のまなざしは、少し雲の上に高く飛んで、天国からの素晴らしい視点をいただく必要があるかもしれません。使徒パウロは、神さまの力と栄光を表すために、神さまはあえて私たちが弱くあることを許すと述べました。「主は、『わたしの恵みは、あなたに十分である。というのは、わたしの力は、弱さのうちに完全に現れるからである』と言われたのです。ですから、私は、キリストの力が私をおおうために、むしろ大いに喜んで私の弱さを誇りましょう」(第二コリント12：9)。

## 弱い時に強くされる

すべての人が強さと同時に弱さを持っていました。し

かし、私たちは弱く、傷つきやすく、無力となる時に、私たちを助けてくれるものに頼るようになります。私の使命や情熱はここから始まります。つまり、キリストからの希望と祈り、学習障害への専門知識によって、「イエス・キリストにあって、弱い時にこそ、強くされる体験ができる」ことを知っていただければ…と思うのです。私たちが主に頼る時こそ、私たちは主の力と強さを体験します。不可能のない、神さまに頼るようになります！ そして、神さまにはまったく限界がないことを理解するようになります。そして、私たちは試練を乗り越えられます。この事実は癒しであり、権威ある真実です。

## 絶望というウソ

「絶望というウソ」(参照：箴言13：12)から離れることができるようになると、お伝えすることは、私のパッションを燃えたたせます。神さまの主権は、学習面での困難や障害を含め、すべてをおおうのです。私たちは自分が何をしたとか、どのように学んだかということで自分を形成するのではなく、神さまがどういう方であるか、また、何を成し遂げられたかで形成されます。私たちは「できる」のです。なぜなら、キリストが私たちを通して「成して下さる」からです。こうした過程を通じて、忍耐強さ、別の方法を模索する創造力、そして試練の中における人格的成长が与えられてもいきます。

## 頭で分かっていても、受ける痛み

しかし、実際に、子どもたちが傷ついているのを見ると、時々、私たちは、そうした神さまの視点や真理から見ることができなくなります。そうした傷ついた、たくさんのクリスチャンの親たちと出会ってきました。せっかくホームスクーリングをされているのに、止めようと思われたりする方も出てきます。

子どもが学習障害を持っているとするなら、苦闘しながら勉強する子どもの姿に親は傷つきます。こうした過程を通りながら、私たちはたやすく苦い思いを抱き、失望してしまうのです。「神さま、なぜですか。どうして私の子どもに、こんな障害があるのでしょう。私にどうやって助けることができますか。将来的にも、どうしたらいいのか、全くわかりません」。もちろん、子どもが「万能でミスの無い神さまに、素晴らしい創られている」ことは頭では理解していますが、私たちの感情はかき乱され、疲れ、押しつぶされ、落胆して

しまうのです。

### ホームスクーリングが効果をもたらす理由

けれども、私たち親があきらめず、神さまを見上げて、愛と犠牲を注ぎ、神さまにあるホームスクーリングを継続していく中で、神さまはすべての面において「天国の手法」という癒しの業を推し進めて下さいます。何より、子どもが、真実ではない、この世の価値観に同意し、自分にレッテル張りをしてしまう、害悪をもたらす状況から助け続けることが、最も効果的です。

エレミヤ1：5はこう言います。「わたしは、あなたを胎内に形作る前から、あなたを知り…」。神さまはご自分がなさっていることを確かに承知しています！ 神さまが主権者であるゆえに、皆さんの子どもは、障害があると無からうと、神さまの計画の上にある完全な存在です。それだけでなく、この節で神さまは続けて語られます。「あなたを聖別し、あなたを国々への預言者と定めていた」。

皆さんがホームスクーリングをしているなら、それはお子さんが受けられる、どんな教育よりも優れています。子どもたちは、神の希望と約束を学ぶでしょう。誰よりも自分のことを知り、自分のために犠牲を払ってくれる、皆さんが教えてくれるのですから。また、神さまがどのように世に打ち勝ち、ご自身の創造物にどれほど崇高なご計画をお持ちか、見ることができるでしょう。そして、子どもたちは真実に根差し、真実と本当に必要なことによって形作られています。

### 自分の子どもに困難が与えられて

ホームスクーリングを通して、特別な学習ニーズによって神の国を建て上げるという展望は、チア白馬セミナーにおける私の分科会のキーポイントの1つです。他のポイントとしては、成功させる学習戦略、弱点のための助け、強さを通しての教育、正確な診断、ホームスクーリングしている子どもたちの必要を満たす過程の中で、イエス・キリストを見出す重要性を含みます。

私はクリスチャンになる前の独身時代に、学習障害者に教える学びと訓練を受け、学習障害に関する、いわゆる専門家となりました。25才の時に主を救い主として受け入れ、クリスチャンとしての歩みは、神さまを愛し、隣人を愛することに注がれ、以前とは、学習障害へのアプローチも変えられていきました。

結婚したのは28才の時で（ちょうど今年で結婚28周年です）、30才で長男のギャレットを授かりました。32才の時に次男のダレンが誕生。私の人生に置かれた主の力強い御手のおかげで、3番目のクリスティンも生まれ、私は3人の尊い子どもたちに囲まれる恵みにあざかりました。

子どもたちが小学校に入学した頃、私は3人の子どものうち2人に、「隠された情報処理の困難」があると見出し、診断することができました。この障害は神経障害による学習障害とも違い、目立たず、医学的にも

分析しにくいのですが、確かに情報の処理の過程において虚弱な要素があるのです。長男のギャレットは視覚的な処理における困難を持っていました。つまり、実際の光景は見えるのですが、見たものを脳で処理するうえで弱点があるのです。次男のダレンは、小学校の初年度で視覚的処理の欠損と、聴覚処理の欠損が見つかり、学校での勉強にも影響を及ぼしていました。

このように、我が子に困難があったため、私も体験し、分かるようになりました。子どもが勉強がうまくいかず、傷つき、苦労する姿に接した時の、母親の心の痛みが、どれだけ深いかを。また、子どもたちが自分は無能だと感じ、学校生活で彼らが渴き、痛みきっている状態を見て、親として「彼らに、何とか水を注ぎたい」と心を煩わす気持ちもよく分かります。そのような日々は、私にとって辛い日々でした。学習障害を専門としているのに、簡単に解決しない…という苦しい日々です。長年に亘って我が子を助け、訓練していった後で、私が神さまに示されたことは、自分の子どもに困難がある家族を支え、助けていく上で、このことはとても大事だったということです。特に、皆さんの愛する子どもたちが学習障害を抱えている時にどうすればいいのか、知識を超えて深く理解する上で。

困難を抱えた子どもたちと歩むことは、簡単なことではありませんでしたが、でも豊かな経験でした。皆さんに希望をもたらすため、私の経験を分かち合いましょう。2人の息子たちは、後にアメリカのトップランクの大学を卒業しました。ギャレットはウェストモント大学、ダレンはアート・センター・カレッジ・オブ・デザインの卒業です。2人とも高校を名誉ある成績で卒業し、何より、自分の人生における神さまの召しを見つけ、今、順調に、その道での努力を重ねています。ギャレットは日本に仕える長期宣教師として、この秋、日本に向かったところです。ダレンは神さまから与えられた芸術の賜物をもって、世に影響を与えると、特に映像を通して神に栄光を帰す道を歩み出しています。娘はカリフォルニア・ロングビーチ州立大学で学んでいて、最終的には、学習障害の人々を助け、教えるという私の実践してきたミニストリーを引き継ごうとしています。夫のリチャードと私は、本当に祝福されています。

### 増え拡がるウソ

「他とは違う、ユニークな学習方法のニーズのある子どもたち」には希望がない、そんな増え広がるウソと、私たち親は戦っています。この戦場は世界規模で拡がっています。神さまは、…私たちの全ての子どもたちにユニークな賜物を与え、力も弱さも備えてくれています。それは、神さまに栄光をお返しするという崇高で最高の目的のです。…神さまは子どもたちの学習面での勝利と失敗を用います。神さまが私たちに望んでおられることは、私たちが「最悪」と定義づけてしまう「視点」の存在を、自分自身の中に認め、それを捨て去り、「神のまなざし」を育み、傷が癒され、回復することです。

<続きは来月発行のマガジン37号で>

# 白馬セミナー2012

## 抄録 (五十音順・敬称略)

### 《主講師 デービス・カーマン》

「嵐の中で主を賛美する」

(Praise Him in the Storm)

心を尽くして神を求めているにもかかわらず、何もかもうまくいかないという体験はありませんか？このセッションでは、アポロジア社を買い取るまでのデービス氏、自らの証しをします。彼は、創造科学書籍を中心とした出版社を買い取る過程で体験した困難について証しします。その戦いはコストを強いられた戦でしたが、戦うだけの価値がありました。激しい浮き沈みの連続で、失業状態の延長、忍耐力、ビジョンを揺るがされる戦いに及びます。キリストの共同体を通して彼の家族の必要がどのように備えられたか、またそれがホームスクール財団法人（経済的必要のあるホームスクーリング家族を支えるために捧げられたミニストリー）を通して、どのように他の人を助ける機会につながっていったかについて詳しく話します。このセッションでは、私たちの人生、特に、しばしば、多くのクリスチャンたちが遭遇する、嵐のただ中にいる時に、神がどのように力強く働いてくださるか、その時、私たちはどう対応すべきかを見出すことになるでしょう。

Have you had times in your life when everything seems to go wrong, even though you are seeking God with all your heart? Davis Carman can relate. In this session, Davis gives his personal testimony leading up to the purchase of Apologia. He describes the trials he encountered while trying to acquire the creation-based science curriculum publisher ? a fight worth fighting even though the cost was high. His story is a roller coaster ride involving extended unemployment, perseverance, and the fight for a dream. He recounts how God provided for his family's every need through the body of Christ and relates it to opportunities to help others through the Home School Foundation ? a ministry dedicated to serving homeschooling families in need. In this session, we will discover how God works powerfully in our lives ? especially in the midst of the storms we often encounter.

「ホームスクールをするための良い点を一つ挙げてください」(Give Me One Good Reason to Homeschool)

親には、自分の子供たちにすべてを教える資格があるのでしょうか。社会性はどうですか。これらは、ホームスクーリングが不可能であると思わせる心配事の一つにしかすぎません。そうした心配を乗り越

えて、ホームスクーリングが成長し続けていること、もっと多くの家族が検討していて、思い切った行動を取ろうとしていることを皆さんには、知っています。なぜ、ホームスクーリングは拡がっていくのか、その理由の上位にあるものは何でしょうか。このセッションでは、ホームスクールをする精神的、学業的、実践的理由を論じ、私たちが信じてしまいがちなウソの神話を打破する手助けをします。この分科会を終えた後で、ホームスクーリングを理解し、踏み出すべきと、思うようになるでしょう。

Are parents really qualified to teach their children everything? What about socialization? These are just a couple of the concerns that make homeschooling seem impossible. But you know homeschooling is continuing to grow. More and more families are considering it and taking the plunge. What are the top reasons? In this session, Davis discusses the moral, academic, and practical reasons to homeschool, and helps dispel the myths we all tend to believe. When you finish this workshop, you will know that if there was ever a time to homeschool, it is now.

### 「妻への良き助け手となるために」 (APPLES for the Teacher)

新鮮でピカピカ輝くりんごをプレゼントすることは、今でも、贈り主の教師に対する尊敬と感謝を表しています。ホームスクーリング・ママにもそうすべきではないでしょうか。母親たちが、ホームスクールの仕事量を1人でこなしているのが、よく見られる姿です。こうした母親たちが燃え尽きてしまわないために、夫は妻を助け、妻がホームスクールの責任を100%背負っている感じさせないようにすべきです。あなたの妻は「ありがとう」という言葉をいろんな形で聞き、夫であるあなたも一緒にやってくれていることを確信する必要があります。ホームスクーリングの旅の中であなたの妻をサポートするための現実的、実践的な必須のアイデアを分かち合います。

The gift of a fresh, shiny apple still represents respect and gratitude towards one's teacher. Why should it be any different for the homeschool mom? They typically carry the lion's share of the homeschool workload. To help them avoid burnout, husbands need to help their wife avoid feeling 100% of the homeschool responsibility. Your wife needs to hear "thank you" in many different ways and know for sure that you are engaged. In this session, Davis gives real and practical

ideas for supporting your wife in the home-schooling journey.

#### 「申命記6章&親を支える、さらなる聖句」

(Deuteronomy 6 and Beyond)

申命記6章は、子供たちが家に座っているときも、道を歩くときも、寝るときも、起きるときも、子供たちによく教え込むようにと親たちに勧告している典型的な御言葉です。聖書の中には家庭教育やしつけについて語っている箇所がもっと沢山あります。あなたがホームスクーリングをするかどうかの岐路に立っている人であっても、すでに数年やっていてはいるが、続けるべきかどうかの決断を迫られている人であっても、あるいは、さらに励ましが必要なベテランであったとしても、このセッションで見つめていく、神の御言葉の中にある真理が、皆さんに自由と力を与えるでしょう。皆さんを動機付ける聖書の御言葉を分かち合い、神の知恵を皆さんのご家庭にまで送り届けます。

Deuteronomy 6 is a classic scripture admonishing parents to teach their children diligently when sitting at home, when walking along the way, when lying down, and when getting up. There are many more places in God's Word that speak to home education and family discipleship. Whether you are at the crossroads considering home education, a few years into it deciding whether to stay the course, or a veteran in need of affirmation, the truth found in God's Word will set you free. Davis shares several of these inspired verses in a way that brings God's wisdom all the way home.

#### 「ホームスクーリング、未来の城を築くために」

(Homeschool Castles)

昔の城は何百年も立ち続けるように作られています。今でも多くの古城が立っていて、観光客に称賛されています。私たちはホームスクールをしている家庭の中で、何を築き上げているのでしょうか？そこにはマニュアルや青写真があるのでしょうか？なぜ、ホームスクールをしているのでしょうか？この犠牲は価値のあるものでしょうか？このセッションでは、デービスが動向を分析し、取り組む価値のある、情熱を注ぐべき、将来へのビジョンを作り出しながら過去、現在、未来の家族の状況を予測します。神がホームスクーリング・コミュニティーの中で力強く働いておられる理由のすべては、現在の時代背景から理解するのは難しいかもしれません。つまり、信仰が伴うということです。私たちの時代にそのすべての実を見ることができないかもしれませんが、そこには希望があります。今始めたほうがいいのです。そうすれば、皆さんのひ孫たちに感謝されるでしょう。

Castles of old were built to last for thousands of years. Many are still standing today

for visitors to admire. What are we building in our family homeschools today? Is there a manual or blueprint to follow? Why are we doing this? Will the sacrifice be worth it? In this session, Davis visits family past, present, and future analyzing trends and creating a vision for an exciting future worth working towards. All the reasons why God is moving in the homeschooling community may be hard to understand in the context of present history, so it will take faith. We may not see all the fruit in our lifetime, so it will call for hope. Better start building now; your great-grandchildren will thank you.

#### 「ホームスクーリング父さん（母さん）のハートテスト」(HEART Exam for Homeschool Dads)

ホームスクールであっても、テストや試験はあります。このセッションでは、ホームスクールをする父親たち（母親たち）が、心の靈的試験を受ける手助けをします。マラキ書にある真理を表示する頭文字として、HEARTという単語を使います。そこでは本当の意味での心 (heart) の問題について取り扱っています。トピックは“マラキ医師”によって取り扱われており、神と家族との両者の関係が含まれます。父（母）の心を子に向けさせる旅に父親（母親）が入っていくことができるよう、実践的で忠実なステップを見つけ出すことが目的です。

Tests and exams are a typical part of school, even homeschools. In this session, Davis helps homeschool dads take an exam - a spiritual exam of the heart. He uses the word HEART as an acronym to display truths found in the book of Malachi, which deals with very real heart issues. The topics covered by “Dr. Malachi” include relationships with both God and family. The goal is to discover the practical and faithful steps a father can take in the journey towards turning one's heart to his children.

#### 《主講師 レイチェル・カーマン》 「私が？ホームスクール？」(Me? Homeschool?)

このプレゼンテーションでは、どのように自分たちの子供をホームスクーリングするに至ったかを、率直に分かち合います。これは、ホームスクールを始めようかどうか、続けようかどうか、決断を迷っている家族や、困難な最初の1、2年を送っている家族に励ましと啓示を与えるでしょう。

In this presentation Rachael discusses with great candor how she and her husband came to the decision to homeschool their children. This is great encouragement and inspiration for families trying to decide whether or not to homeschool and for those in a difficult first

or second year.

### 「子どもに話す時、神が願う、あなたに聞いてほしいこと（同名著書のエッセンス）」 (SoundBites From Heaven)

これは同じタイトルのレイチェルの著書の内容を凝縮したものです。この本はフォーカス・オン・ザ・ファミリーの発行で、ティンデル社（クリスチヤン系大手出版社）から出版され、好評です。個人的な体験や内省、洞察を通して、レイチェルが聴衆を、「あなたが子供に話すとき、神があなたに聞いて欲しいと願っておられるることは何か？」という主要ポイントに導きます。

This talk is a condensed version of the material in Rachael's book by the same title. This book is a Focus on the Family resource published by Tyndale. Through personal stories and moments of introspection, Rachael will guide the audience to the main point - What God Wants You to Hear When You Talk to Your Kids.

### 「子供に通じる心（H.E.A.R.T）を持つ方法」 (How To Have a H.E.A.R.T. for Your Kids)

箴言4：23でソロモンは、「力の限り、見張って、あなたの心を見守れ。いのちの泉はこれからわく」と、本質を鋭く書いています。私たちが子供たちの心の関係に近づいていくとき、本当に大切なことが何であるかに焦点を当てる努力をする必要があります。他の多くのものについてもそうですが、めざす「心」を持つための最初のステップは、その「心」を持ちたいと願うことです。聖書的観点から、本当に大切なことが何であるかを、HEARTの頭文字を使って示していきます。

In Proverbs 4:23 Solomon wisely wrote, "Above all else, guard your heart, for it is the wellspring of life." As we approach a heart relationship with our children, we need to focus our efforts on what really matters. As with so many things, the first step to having a heart is wanting to have a heart. This lesson uses the word H.E.A.R.T. as an acronym to suggest what really matters from a biblical viewpoint.

### 「ホームスクール・生き延びるだけでなく、飛翔するために」(Soaring Beyond Survival)

ホームスクーリングは簡単ではありません。実際のところ、時々完全に圧倒されてしまいます。もしかしたら現在、どうにか生き延びているという状況に陥ろうとしているかもしれません。ホームスクーリングは一生涯の冒險であり、神があなたの力となります。ただ生き延びるだけが神のみ心ではありません。神はあなたの成功を望んでおられます。ワシのように上昇するには何が必要か、神さまに示さ

れていることを分かち合います。

Homeschooling is not easy. As a matter of fact, sometimes it gets downright overwhelming. This can be a time when it is tempting to slip into survival mode. Homeschooling is the adventure of a lifetime and God will be your strength. It is not His will that you just survive, He wants you to thrive. Come hear what it takes to soar like an eagle.

### 「ペースと根気」(Pace vs. Perseverance)

あなたは、選んだ教材のペースを保つことができますか？ 1日でも遅れずについて行くことができますか？ そうしたことができずホームスクールのペースに苦しんだレイチェルが、どのように完璧主義を乗り越えていくか、忍耐が与えられるようどのように神に心を向けたか、レイチェルの告白を聞きに来てください。あなたにもできます。

Can you stay on the given schedule for your chosen curriculum? Can you keep up with everyone else for just one day? Come and hear Rachael's confession of her own personal battle with pace in her homeschool and how she looks to God to help her persevere! You can too!

### 「どのようにして自我に死ぬか、どのようにそれを証ししつつ、生きていけるか（ガラテヤ2：20）」 (How to Die to Yourself and Live to Tell About It (Galatians 2:20))

私たちは、「自分自身が大事である」と信じ込ませようとするメッセージに日々さらされています。「私たちは自分自身を追い求めるべきだ」というのが、そのメッセージの基本テーマです。これはまったくのウソであり、ウソの中でも極めつけです。私たちは、自分自身に目を向けるのではなく、偉大な力強い神に目を向けるよう、焦点を変える必要があります。この世は、平和と満足感を何とか手に入れようと、必死に追い求めています。しかし、それはキリストとその御心に完全に委ね、従って生きる時にだけ、手に入れられるものです。その発見が、どのように私自身の人生の方向性と目的をがらりと変えたのか、神さまに教えられたことを、分かち合わせていただきたいと思います。きっと、皆さん的人生も変わりますよ！

Every day we are bombarded with messages that try to convince us that we are individually important. The basic theme is that we should seek self. It's all a big lie, from the king of lies. We must shift our focus away from ourselves and on to our awesome and mighty God. The world is relentlessly pursuing peace and contentment that can only come from a life that is totally surrendered to

Christ and His will. Come learn how this realization radically changed Rachael's life's direction and purpose. It can change yours too!

### 《主講師 ジョイス・イノウエ》

「特別な学習訓練を必要とする子供を教えるときの十戒 パート1」

(The Ten Commandments of Teaching My Child with Special Learning Needs Part 1)

マタイ11：28でイエスが言われました。「すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところにきなさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」。クリスチャン・ホームスクーリングをしている親のチャレンジは、子供に学習障害があろうがなかろうが、「たましいに休息を見出す」ために、それぞれの子供によって異なる、「必要」への助けをすることです。「十戒」パート1では、特別な必要をかかえている子供を教えるという戦いに直面している方に必要な「道具と武器」を提供します。このセミナーで力と励ましを得、真理に燃え立たされましょう。ここでは、十戒の第1戒～第5戒を取り扱います。

In Matthew 11:28, Jesus says, "Come to me, all you who are weary and burdened, and I will give you rest". Our challenge as Christian homeschooling parents is to help our children "find rest for their souls", whether they have unique learning needs or not. The "Ten Commandments" Part 1 provides you with "tools and weapons" for the battles you face teaching your child with unique needs. Come to this seminar and become empowered, encouraged and ignited in what is true. This seminar will focus on Commandments 1-5.

「特別な学習訓練を必要とする子供を教えるときの十戒 パート2」

(The Ten Commandments of Teaching My Child with Special Learning Needs Part 2)

マタイ11：28でイエスが言われました。「すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところにきなさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」。クリスチャン・ホームスクーリングをしている親のチャレンジは、子供に学習障害があろうがなかろうが、「たましいに休息を見出す」ために、それぞれの子供によって異なる、「必要」への助けをすることです。「十戒」パート2では、特別な必要をかかえている子供を教えるという戦いに直面している方に必要な「道具と武器」を引き続き提供します。このセミナーで力と励ましを得、真理に燃え立たされましょう。ここでは、十戒の第6戒～第10戒を取り扱います。

In Matthew 11:28, Jesus says, "Come to me, all you who are weary and burdened, and I

will give you rest". Our challenge as Christian homeschooling parents is to help our children "find rest for their souls", whether they have unique learning needs or not. The "Ten Commandments" Part 2 continues to provide you with necessary "tools and weapons" for the battles you face teaching your child with unique needs. Come to this seminar and become empowered, encouraged and ignited in what is true. This seminar will continue with Commandments 6-10.

「学習障害：なぜ私の子供には学習困難があるの？どうすればいいの？」

(Learning Disabilities: Why My Child Can't Learn And What To Do?)

神の主権はすべてを覆います。神さまは、学習へのチャレンジや障害を持っている子供たちの全てをカバーしています。このセミナーでは、子供の長所と短所を発見し、その子供の長所をもって短所に打ち勝つ方法について取り組みます。

学習問題について学ぶだけでなく、子供自身が自分の弱さに打ち勝って、その子の学業における可能性を切り開くためには、どのように皆さん自分が自分を訓練し、どのように助けていけばよいか分かってくるでしょう。

God's sovereignty covers all, including learning challenges and disabilities. This seminar will address ways to discover a child's strengths and weaknesses, and how to overcome the weaknesses by teaching through a child's strengths. Not only will learning issues be addressed, but it will also train you on how to help your child overcome weaknesses to become and reach their academic potential.

「注意欠陥障害：子供が自分の注意すべきこと以外のその他すべてに気を取られるとき」

(Attention Deficits: When My Child Pays Attention To Everything But What They Should)

心を集中させて聞かない子供、あるいは、すべてのことに対する過剰な反応する子供を教えるのはエネルギーのいる仕事です。それが自分の子供であるならなおさらのことです。ここでは、注意欠陥と、課題を完成できない、じっと座っていることができない、注意散漫な子供の欠陥の原因を調査していきます。最新の注意欠陥障害の研究からホームスクーリングをしている親が学べること、そわそわしていて、すぐに注意散漫になる子供たちを力の限り助けていく方法を見ていきます。

Teaching children who do not pay attention and who overreact to everything in his or her world is challenging, especially when these

children are yours. Explore what causes Attention Deficits, as well as a child's inability to complete tasks, sit still and be distracted. What can homeschooling parents learn from the latest research on Attention Deficits, and how to best help children who fidget and are easily distracted.

「神は失敗をされない：私の子供は「恐ろしいほどに素晴らしい」造られた存在か？」  
 (God Does Not Make Mistakes; Is My Child "Fearfully and Wonderfully" Made?)

自分の子供が傷つくのを見ると、その痛みを止めてあげたいと思います。しかしそれが子供の学習に関わってくるとき、子供たちが四苦八苦しているのを見ると、違った感情に支配されがちです。すぐイライラしてしまい、「なんでそんなのできないの？」と言ってしまいます。このセミナーでは、「神の国の視点」を発見し、身につける助けをします。エレミヤ書1：5には、神は私たちの子供を形造る前から彼らをご存知であり、彼らを国々の預言者として聖別して定めていたとあります。子供たちをホームスクーリングするなら、皆さんは、子供たちに、神の希望と約束をもたらすという最高かつ、最も偉大な機会が与えられることになります。あなたの子供たちがどのように真理の中に根ざし、アイデンティティを見出すようになれるのか聞いてください。

When our children hurt, we want to stop the pain. When it involves their learning, we ache when we see them struggling. We easily can become frustrated and say, "Why does it have to be so hard?" This seminar will help you discover God's "Kingdom Perspective". Jeremiah 1:5 states that God knew our children before He formed them and that He set them apart to appoint them as prophets to the nations!" As you homeschool your child, you have the greatest opportunity to bring forth God's hope and promises. Hear how your children can become rooted and identified in what is true and necessary.

### 《 その他講師陣 基調講演 》

「天の御国は近づいた」 ピリポ・ブローマン  
 キリストが私たちに与えた約束は永遠の命です。クリスチヤンの親は、この希望があるので大きな犠牲を払っても、子どもの救いのために励むのです。

キリストは天国についていつもたとえ話しをもって教えましたが、後で自分の弟子たちだけには全てを説明しました（マタイ13：10、11）

天の御国の奥義について、クリスチヤンの子育ての励みになれば、と思いお話をします。

稻葉 寛夫 チア・にっぽん代表。

### 《分科会》 「経済学の視点で政策を考える」

赤林 英夫・大垣 昌夫

経済学は、「金儲け」の学問ではありません。「希少な資源が、人々にどう分配されているか、また、分配されるべきか」を探求する学問です。例えば教育や環境や年金にどれだけ投資するべきか、という問題は世代間の資源分配の問題と捉えられます。領土問題は他国との資源配分の問題と捉えられます。歴史上の多くの偉大なリーダーたちは、子どもの時から家族でどのような政策が良いか話し合うことによって、政策について興味を抱き、良き決断の基準を身につけました。政策について話しあうためには、経済学の視点が役立ちます。聖書のむだに捨てないように（ヨハネ6：12）という教えは従来の経済学での政策評価のために研究されてきた経済効率性に関係し、最新の行動経済学の分野では、無条件の愛（1コリント13：4－7）や、隣人の徳を高める（ローマ15：2）ことに基礎を置いて政策を評価する研究も行われています。本講演では経済学の視点から、特に教育政策と、無条件の愛と徳を高めることに基づいた政策評価についてお話しします。

「みんな、ありがとう」 阿部 俊之&寿子

ホームスクーリングを始めて9年が経ちました。現在、大学1回生・高校3年生・中学3年生・小学5年生の4人の子どもたちとどのように過ごしているのかを紹介させていただきます。また、関西のホームスクーリング交流会、兵庫県チーム交流会の様子もお話をさせていただきます。

「3人ホームスクーリング、7年目 何でもQ&A」  
 (仮題) 伊藤 義和&こずえ

06年から2人の息子（現在11歳と8歳）のホームスクーリングを始めた牧師家庭（J E C ヒルズチャーチ）。2歳児も加わり、子育て奮闘中。

ご質問、何でもどうぞ！ なければ、こちらからも話しますので大丈夫です。

「チャーチ&ホームスクーリング - 必ず聞かれる20の質問」 稲葉 寛夫

「チャーチ&ホームスクーリングって何？」そんな質問への答えから始めて、全体像をつかめるセッション。スタート済みの皆さんには、知人・友人へのプレゼンテーションへの参考に。「社会性は？」「微分、積分ができなくても教えられる？」「聖書が教える教育法は？」「しつけは？」「大学進学、就職は？」「ホームスクーリング・マインドのチャーチスクールって？」「週2時間からできるC&Hって？」。この12年の全国各地でのセミナーで多かったQ&Aをベースに8時間コースを50分に短縮した、一度は必修のコース！

「人の祖先はサルなの？それとも…」（中学生以上大人

向け)

テレビや新聞、公立学校の教科書では、「人はサルのような生き物から少しづつ進化して出現した」と教えています。これは本当でしょうか。聖書は、人は最初から人として、サルは最初からサルとして造られたことを教えています。聖書からどのように理解したら良いでしょうか。なぜテレビなどでは、そのように教えるのでしょうか。その謎を解明しましょう。

「ノアの洪水によって地形ができた証拠」(中学生以上大人向け) 宇佐神 実

聖書を見ると、地球全体を覆ったノアの洪水の後、ヨブが生きていた頃に氷河時代だったことが推察できます。そして、氷河時代の終わり頃にアメリカのモンタナ州からワシントン州にかけて湖の決壊によりミズラ洪水と呼ばれる洪水が起こりました。この中規模の洪水の研究の結果、地形は何億年という歳月をかけなくとも数日間程度の短期間で形成されることが証明されました。このことからノアの洪水と地形の形成について考えましょう。

「家族で伝道の恵み」 鍵谷 徹也&陽子

ホームスクーリングの醍醐味の一つは、家族での伝道の時間が自由にとれる事！ この9月、長崎の教会が一つもない離島に渡り、福音を伝えてきました。兄弟から、コンロ付きのパンを借り、車中泊をしながら、廃墟だらけの坂道を地図片手に一軒一軒人々を訪ね、学校では聖書のお話をし、絵本を渡し、通りに御言葉の看板を貼り、スピーカーで島中に福音を聞いてもらいました。

そろそろ思春期突入の長男と、抱っこ盛りの1歳児と共に、日暮れまで歩きづめ、お風呂も、ベッドも無い8日間。大変そう？ 少しは！ でも、その100倍も喜びとわくわく一杯の毎日でした。

「求めなさい。そうすれば与えられます。」弱い者でも、神様は助けを与え、使って下さいます。ホームスクーリングと勉強、就職、そして将来を、どう考えていくのか。今回の伝道レポートをベースに、神様が下さった驚くばかりの恵み、今、神さまが私たち家族に教えてくださっていることをお分かちします。(何でもQ&Aの時間もあり)

「お母さん、私オリンピックに出場する！」

木谷 直也&尚美

今年でホームスクールを始めて満8年になります。息子は14歳から始めて現在23歳、娘は2歳から始めて現在11歳。色々な問題を一つ一つクリアしながら「やっぱりホームスクールでよかった」と思う今日この頃です。私たち親にとって、子どもの教育に関わることは、自己の再教育であり、人生の回復、家族の回復です。

息子は、恋愛・結婚について（息子の「この人と結婚したい！」をめぐって私たち親の取った選択とはなんだったか）、また、娘に与えられた才能（賜物）

宇佐神 実

をどう花開かせるか、（今秋、英検準2級筆記テスト合格、水泳イトマン選手コース、県立ジュニアオーケストラの活動、奈良こども演劇入団、集中力とやる気を育む食育について）。

主の教育を土台にした私たちなりの軌跡をお分かちします。

「伸びゆく子どもたち」ギンター・マイケル&千為子

子どもたちの個性や能力、成長過程に合わせて様々な方法手段を用いて教育することができます、ホームスクールの素晴らしい特権であり、また大きな楽しみもあります。実際様々な方法があると思いますが、この15年を振り返って私たちが試みたカリキュラムや勉強法、その他アンスクーリングなどについても紹介したいと思っています。

3人の息子（15、14、10歳）をカナダと日本にてホームスクールで育てる。教員であった私たちには、自分たちの子どもをぜひホームスクールで育てたいという夢がありました。私たちの経験が、少しでもお役に立てれば嬉しく思います。

「新しい英語カリキュラムGrapeSEED 母語的な習得方法で パート1&2」

グレープシティ（毛利・ジョーダン）

自然な言語発展に従い母語的に英語を習得する。これがGrapeSEEDの基本理念です。効率よく英語が覚えられるように英語の特徴の一つである「頻出語」を機能的に学習するメカニズム、日本語と違う英語の音素に気づき、それを身につける練習のためツールなど、GrapeSEEDを構成する重要なコンポーネンツをわかりやすく説明します。

このセミナーに参加されると、GrapeSEEDを始める条件の「導入セミナーの受講」を修了したことになります。

鈴木 啓子

南部キリスト教会伝道師（小松市）。ホームスクーリングスタート後、ご主人の闘病・召天という試練を乗り越えつつ、長男（30）、最近嫁いだ長女（27）ときずなを強めながら、現在、次男（15）をホームスクーリングして10年め。

田村 正幸

伊勢崎キリスト福音館。伝道者養成の目的で、チャーチスクールを始めたのが11年前。卒業生は、保育士助手として働きつつ、トラクト配布や看板伝道に。5年前の4月から未信者向けインターナショナルスクールを開校。

「主はいつも共にいてくださる ー那須家のホームスクーリング9年目ー」 那須 清志&百合美

2004年4月より始まったホームスクーリングも9年目になりました。現在、長男（20歳）は予備校へ通い大学進学を目指し勉強中。長女（18歳）は看護学生1年生。次女（16歳）は高卒認定試験に合格し

来春よりアメリカに留学予定。次男（14歳）、三女（12歳）は仲良くホームスクーリングで学んでいます。英語はグレープシードを使っています。

つい最近には「ホームスクーリングで学んでこれて本当によかったわ」という声も聞くことができました。しかし、ここまで山脈あり、渓谷ありの9年間でした。子どもたちの変化に対する親の接し方、子どもたちに対する主の取り扱いなど、最近の我が家家のホームスクーリングについて語らせていただきます。

「クリスチャンホームに生まれ育ち、さらに神の子として生まれ変わるまで…」 ナタン・プローマン

「…この人々は、血によってではなく、肉の欲求や人の意欲によってでもなく、ただ、神によって生まれたのである…（ヨハネ1：13）」

クリスチャン家庭に生まれ育ち、自然に神の子として生まれ変わるのがといえば、必ずしもそうではない。自分自身の育った環境、そして経験について少し分かち合いたいと思います（時間が許せばQ&Aタイムあり）。

「私の心に焼きついた母の3つの祈り」 馬場 直行

どのお母さんも子どものために毎日祈ります。その祈りが子どもに対する願いであります。また、その祈りが子どもの一生の支えになり、人生の選択に大きく影響すると思います。私の母も同じでした。小さい時から祈ってくれたことが今でも私の心に焼きついており、今の自分を形成した土台になりました。一生忘れることのできない、小さい時からの母の3つの祈りをご紹介したいと思います。

ピーター・ロックソム

京都インターナショナルユニバーシティ。公立高校、私立高校、大学で教え、かつ長男を6年間ホームスクーリングで育てた。

「教会のあり方」

ピリポ・プローマン

子どもの教育の責任は、お父さんとお母さんにあります、教会で兄弟姉妹が助け合うことも大切です。ローマ書12：4～8

教会における牧師、長老、献金、集会、礼拝堂、礼拝、女性の役割などについて、聖書に基づいてみなさんと話し合いたいと思います。

「大学の教育について」 ピリポ・プローマン

神さまを認めない人間は「自分では知者であると言ながら、愚かな者となっている。」ローマ書1：21、22

現在の大学には、多くの不必要なもの、聖書に反する教え、罪に対する誘惑などがあります。しかしながら、今の社会で仕事を得るために、大学で取得する資格や免許状などが必要な場合も多いのです。

クリスチャンの子どもの教育はどのようにしたら

良いでしょうか？ みなさんからも意見を出して頂きながら話したいと思います。

「我が家のホームスクーリングの進路」 堀井 卓

私たちホームスクーラーの両親は、子どもたちを「イエス様の弟子として育てる」という大目標があります。5人の子どもを育てていく中で、一人一人の賜物を祈り神さまの計画を知り進路を考え、毎日の生活の中で子どもたちのモチベーションを高めていく必要を、我が家では示されています。

「わたしが、あなたがたを遣わすのは、狼の中に羊を送り出すようなものです。」（マタイ10：16）

いつか子どもたちを世の中に送り出す日が来ます。そのために、今、ホームスクールで、できること、また集中すべきことをともに考えたいと思います。子どもたちが世の光、地の塩として全世界に出ていくために。

1. 短期目標の設定（神様からの賜物と召し）進学、就職、起業、伝道者、宣教師

2. モチベーションを維持するために

3. BAM (Business As Mission) 世界宣教のために、これから求められる能力

全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を宣べ伝えなさい（マルコ16：15）。

「チア・サポート・スクール」

堀井 卓

CSS（チア・サポート・スクール）が始まり、1年半が過ぎました。今年6月から、インターネット英会話クラス、一般科目通信制も始まり全国のホームスクールのサポート体制も整いつつあります。また、チア東北ボランティアにもCSS生も参加することができ、貴重な経験をすることもできました。しかし、この1年半は主の前に祈りつつ、悔い改めつつ、神様に助けていただき何とかここまで来ることができました。

このセッションでは、CSSについての説明、皆様のCSSへの要望等をお聞きしつつ、神さまが、この1年半、CSSを通して教えてくださったことを分かち合いたいと思います。

1. インターネット英会話クラス

2. 一般科目通信制

3. 通学クラス

4. 保護者会、HSネットワーク

5. 質疑応答

CSSがホームスクーラーの助けになることができるようになります。

「基本を大切に！」

堀井 洋二

昨年4月にスタートしたチア・サポート・スクール（CSS）、1年半が経過しました。次男の伊左久（22）、長女の瑠都（19）がアシスタントとして子どもたちの勉強を教え、次女の帆南（16）が現役の生徒として勉強しています。このような展開になると、私たち家族にとって、まったく予期せぬことでした。サポートスクールを通して、子どもたちや親

御さんたちとかかわり、多少の糾余曲折はあっても、少しずつ脱皮し、成長していく子どもたちの姿を見ることは、わくわくする経験でした。同時に、日々、ホームスクーリングの本質（基本）を考えさせられた1年半でもありました。そこから少し、分かち合えればと思います。

1. CSSのスタート！（糾余曲折から軌道修正へ）
2. 基本を大切に！（家庭・親子・イエス様が中心）
3. 流されないライフスタイル！（ともだち・異性・カルチャー）
4. やる気が芽を出すとき！（勉強・スポーツ・チャレンジ）
5. 子どもが変わるとき！（まっすぐに向き合うことの大切さ）
6. 次の一歩！（将来・ビジョン）
7. Q&A

「何でも質問ください！— 私の受けた教育、私が授けたい教育」 マタイ＆愛子・プローマン

懲らしめの体験談や、それぞれキャラクターの違う子どもたちを伸ばしていく上で、神さまから示されていること等を踏まえながら、Q&Aの時間を持ちます。

「0歳からの自覚と責任」 松岡 淳裕＆みぎわ

ホームスクーリングに踏み出して9年目。長男は間もなく15歳。次男12歳。三男2歳。第四子は来年1月誕生予定です。私が子どもたちに大切なこととしてよく話すのは「自覚と責任」について…。これは、私をはじめ、2歳の末息子に至るまで、共通して、日々問われています。出来ること出来ないこと、なすべきことなさざるべきこと等々、年が若い云々関係なく、自分に与えられた役目、役割を日常生活の中で、責任をもって果たしていくことは、それに与えられていると思うからです。日々の生活の中で、主に従う心を育むために、その意味と重要性を子どもたちと共有することは、とても大切だと思われています。<淳裕>

「妻は夫によってケアされる」心からそう思う、結婚18年目です。HS前、夫がどうであろうと、私と神様との関係第一だと思っていました。HS直後、なにはどうであれ、妻は夫に従うべきなのだとthoughtいました。今現在、私が神様を第一にすればするほど（聖書に聞き、従うとき）私にとって夫が最重要人物だということがわかります。「妻は夫によってケアされる」、ホームスクーリングママなら、なおさらです。今現在の心境をありのまま語させていただこうと思います。<みぎわ>

「やっぱ、ホームスクーリングだよねっ」

森山 剛＆有佳子

ホームスクーリングの基本は、子どもたちへのリストにある弟子訓練にあります。弟子訓練と勉強とその他諸々の間にあって、この1年の中でホームスクーリングの原点に立ち返らせられたこと。大学

生への伝道と弟子訓練を通して更にホームスクーリングの必要性（信仰生活、将来のビジョン、就活、恋愛、従順…）を感じていること。これらのことについてお分かちさせていただきたいと思います。

「ホームスクールの分岐点」 森脇 弘隆＆由美子

私たちがホームスクールをすすめていく中で、3つの分岐点があるかと思います。それは、小中高の入学に際しての決断です。このままホームスクールを続けるか、学校に行くかの選択を迫られるのです。昨年の私たちがそうでした。小学時代をホームスクールで過ごした息子が春からの中学入学を控えて決断を迫られました。そのような中で、私たちは神様からの導きを求めつつ昨年の白馬セミナーに参加しました。そこで、私たち親も息子も、このままホームスクールを続けていくという結論に導かれました。現在、引き続きホームスクールを継続していますが、この決断は正しかった、主のみ心にかなっていたと思っています。さらに、高校も引き続きホームスクールを継続していくつもりです。今回、特にこのような分岐点で迷っている方々に向けて、私たちの証し、導きを話したいと思っています。家内が靈的側面について、私がアカデミックな側面についてお話ししようと考えています。

「恋愛・結婚セミナー」 & 「チャーチ＆ホームスクールで得する7つのこと」 山川 哲平＆真紀子

チアと出会い、チャーチ＆ホームスクールに導かれて7年目に突入！ 今年10月1日に、第7子で次男礼（れい）誕生。現在は、7人の子どもたち（咲良、心、臨歌、夢、契、美波、礼）と、合計5家族中心で英語中心のC&Hをしています。形にとらわれないで、聖霊に導かれるままにスクーリングを進めています。「チャーチ＆ホームスクールで得する7つのこと」と、最近とても必要を感じている結婚のための準備や、結婚してからの夫婦の関係について分かち合えたらと思っています。子どもに焦点を合わせることも大切ですが、夫婦関係が何よりも大切を感じている今日この頃です。夫婦の愛のおこぼれで子どもたちは守られます。

<結婚とは?>…「1. 父母を離れて一心同体となる」「2. 人生の墓場じゃない」「3. 愛の実践の場」「4. 性的関係を持つ場」「5. 一番小さい教会」

<幸せな結婚の準備>…「1. 信仰」「2. 告白」「3. 行動」「4. 断食の祈り」「5. こだわりを捨てる」（偶像）「6. ビジョンはこだわりを」「7. 愛は決断」「8. 御心について」「9. 神を第一にする」

<幸せな夫婦関係を築くには?>…「1. 愛の実践」「2. コミュニケーション」「3. 性的関係」「4. 相手の必要を知る」

♪おめでとうございます！♪

10月1日20時15分、2960グラムの元気な男の子が誕生しました。母子共に健康です。7番目（次男）の子供です。名前は、「靈とまことによって礼拝する」から山川礼（れい）です。（香川　山川哲平・真紀子）



お元気ですか？ 10/28から11/10まで息子の寛基（中1、12歳）とネパール宣教旅行を行ってきます。今回は、ウイックリフ宣教師の鳥羽先生の宣教地カリン村を訪ねます。電気もガスもないエペレストの見える無医村の村です。今回は、直接的な医療行為はしませんが、村の視察と医療的なアドバイス、現地のクリスチヤン兄弟姉妹方との交わりがメインです。この宣教旅行が守られ、神様からの祝福がありますようにお祈り下さい。感謝します。 在主（長野　森脇弘隆）

## ♪ ボイス&メール ♪ Voice & Mail

藤本多真恵ちゃんの記念会も素晴らしい証の時だったようですね。Hさんから証しを聞きました。チア・オリンピックで多真恵ちゃんが召天されたことを聞いて、子どもたちが告別式に行きたいなと言ってました。でも、私たち家族が行つていいのか悩んでしまい行けませんでした。ためらわないので行ってみたら良かったかなと、後でしきりに考えさせられました。チア・にっぽんの友達は神の家族だから、私たち家族も行って多真恵ちゃんの証しを子どもたちに見せてあげたかったと思いました。

ところで、白馬セミナーもよろしくお願ひします。もう今年は、コンベンションもキャンプも、オリンピックも、学習会も、いっぱいチアの企画に参加して経済的には、ちょっと、大変。でも、子どもたちは白馬セミナーをとても楽しみにしていて、お年玉をみんな出すから連れて行ってと言われてしまいました。そんなこんなで、今年も白馬セミナーに参加します。また新しいチャレンジに期待しています。素晴らしいセミナーになりますように！（千葉　井澤満美子）

### 《 白馬セミナー特別企画 第2弾 》

慶應義塾大学経済学部 赤林・大垣教授の研究へのコラボレーション！

昨年の白馬セミナーでも実施し、好評だった赤林＆大垣・慶應義塾大学経済学部教授の経済実験。今年の白馬セミナーでも実施します。

チアとしては、「経済学、将来の経営判断の基礎がよくわかる！ そのきっかけとなりうる！」、「世界初と言われる研究実験にコラボできる」、「協力者に謝礼が出る」等のメリットを考えて、扉を開き、今年も協力することになりました。導かれた皆さん、こぞって応募ください。

ゲーム式実験は、予約制（各セッション最多4家族）です。子どもさんは小学生－高校生が主要な対象ですが、小遣いを定期的にもらっている、3－4才でも可。実験のスケジュールは、分科会の各セッション（土曜の最後を除く）、金曜の午後の自由時間。ゲーム式実験は通常約30－40分の予定です。参加者の皆さんには、後ほど、申し込み用紙が郵送されますので、その用紙でお申し込みください。

### 慶應義塾大学経済学部 赤林・大垣教授から 「世界観の経済行動への影響」研究に 御協力依頼です！

白馬セミナー2012の参加者の皆さんに、私どもの研究へのご協力をお願いいたします。ご協力いただける方にはアンケートを実施し、さらにご希望の方には親子でゲーム式実験に参加していただきます。それぞれ協力謝金をお支払いします。アンケートと実験結果は研究目的以外には使用しません。昨年の白馬セミナーでは多くの方にご参加いただき、心から感謝しています。今年も、皆さんのご参加をお待ちしています。詳細は白馬セミナー参加者の方に郵送いたします。

Keio University



お問い合わせは、慶應義塾大学 大垣研究室  
メール：mogaki@econ.keio.ac.jp 電話：03-5418-6403

赤林英夫 慶應義塾大学経済学部 教授  
大垣昌夫 慶應義塾大学経済学部 教授

# 試写会受付中！

これまでの3作品に並行して、新作「ソウル・サーファー」の「DVD/BR発売記念試写会&DVD販売会」が、約4ヶ月の期間限定で開かれました！ 受付スタート中!!

「全米4位」、「見て良かった映画1位(日本)」

「ソウル・サーファー（今年6月に全国上映）」が、チア・にっぽんが正式な窓口となって、ウォルト・ディズニー・スタジオ・ジャパン社に申請する道が開かれました。「ファイアー・ストーム」（ソニー）「フェイシング・ザ・ジャイアント」（ソニー）「アメイジング・グレイス」（ハピネット）に続く、第4弾です。まずは資料をご請求ください。これまでの3作品、既に実施済みの教会、団体からは多くの感動と祝福のレポートが多数、寄せられています。皆さんの教会でも、4作品からの大いなる福音伝道の業が、拡がっていくことを心から祈らせていただきます。詳細・問い合わせはチア・にっぽんまで（Eメール：kuwatani@cheajapan.com FAX03-6862-8648）。申し込み詳細は、HPでもチェックできます。www.cheajapan.com。お申し込みをお待ちしています！

\*「アメイジング・グレイス」はまだ、映画館で有料上映中の地域がありますので、スケジュール調整が必要な場合もあります。でも、積極的にお申込み＆トライください。

聖書的・家族的作品、開催して良かった！という声、多数寄せられています（下記＆チアWEB www.cheajapan.com をご覧ください！）

少人数でもOK、無料です。主催してみませんか。教会などの公の場で視聴することは、残念ながら、違法行為です。許可を得ての上映には、通常、数万円から十萬円以上のコストがかかります。でも、一人でも多くの方に見せたい聖書的な作品があります。正式に、しかもコストをかけずに上映の場を！ということで、与えられた方法が、「無料試写会+DVD販売会」という方法です。DVDの販売案内が映画配給会社のSONYピクチャーズらと交わされた条件ですが、ノルマはありません。それで、下記の教会、クリスチャン団体で好評のうちに、展開が進んでいます。与えられた4作品は、どれも、励まされ、福音の窓口となる優秀な作品です。このチャンス、逃すことなく、皆さんもトライされませんか？

<上映した教会よりアップデート No.34

新湊キリスト教会

「アメイジング・グレイス」>

・久し振りに良い映画を見た、というのが今の感想です。初めから終わりまで引きこまれたように興味深く見ることができました。心に残っているのは、ジョン・ニュートンが2万人の奴隸の亡靈で悩まされている中、名曲「アメイジング・グレイス」を歌う場面。主イエス・キリストの十字架による救い、恵みの大きさをまた深く思わされました。（70代 男性）

・素晴らしい映画、ありがとうございます。この世と妥協することの多い自分に、神様の御前に信仰と良心をもって歩む、無我の主人公に多く教えられました。多くの方に見ていただきたいと思い

ます。（60代 女性）

・世の権力と差別、不正に屈することなく戦い、勝利を勝ち取った信仰の力に感動しました。1人では不可能と思えることも、神様は助け手として、良き理解者である妻と同労者をお与え下さり、成し遂げて下さることを教えられました。奴隸船の船長の心からの悔い改めにより、「アメイジング・グレイス」の賛美の歌が生まれたことを知り、新生した船長が、この世では見向きもされない人にとっても、神様からの祝福が大きいことを思い、慰められました。（60代 女性）

・壮大なストーリーで圧倒されました。奴隸制度が無くなる際、こんな出来事があったとは知りませんでした。もう一度、見たい映画です。（20代 男性）

## 試写会 「ファイアー」「フェイシング」「アメイジング」「ソウル」

# 感動の声、続々！開催してみませんか？

(無料！少人数OK!) お申込みはチアまで！

### <今後の予定>

#### 「アメイジング・グレイス」

- 11月4日（日）青森 弘前キリスト集会
- 11月17日（土）兵庫 白い風
- 11月25日（日）埼玉 越谷キリストチャペル  
TEL 048-987-3577
- 12月23日（日）福岡 久留米聖書教会  
TEL 0942-44-9739
- 2013年1月20日（日）青森  
あすなろ福音キリスト教会  
TEL 017-722-7162

#### 「ソウル・サーファー」

- 11月23日（金）チア・白馬セミナー  
長野 ホテルグリーンプラザ白馬
- 12月9日（日）大阪 JECヒルズチャーチ  
TEL 072-453-4106
- 12月24日（月・祝）福岡 久留米聖書教会  
TEL 0942-44-9739

#### ■12月30日（日）神奈川

リビング・ウォーター・チャーチ  
TEL 044-511-1262

#### ■2013年1月19日（土）北海道

中札内文化創造センター

#### ■2013年1月20日（日）北海道

帯広栄光キリスト教会

#### 「ファイアー・ストーム」

- 11月4日（日）奈良 奈良西和キリスト教会  
TEL 0745-73-3774
- 12月21日（金）神奈川 主都福音キリスト教会  
TEL 044-966-5344

#### 「フェイシング・ザ・ジャイアント」

- 11月18日（日）  
山形 米沢興譲教会 TEL 0238-23-6439

### <開催いただいた教会・団体>

#### 「ファイアー・ストーム」

- 千葉 主イエス・キリスト千葉教会
- 東京 久我山キリスト教会
- 東京 調布バプテスト・テンブル
- 兵庫 広畠キリスト教会
- 兵庫 神戸西バプテスト教会
- 北海道 中札内初穂キリスト教会
- 大阪 寝屋川キリスト教会
- 神奈川 藤沢オリーブチャペル
- 兵庫 御影神愛キリスト教会
- 兵庫 伊丹聖書教会
- 山形 米沢興譲教会
- 山形 シオンキリスト教会
- 埼玉 東京バプテスト教会 三郷キャンパス
- 長野 中野キリスト教会
- 北海道 キリスト兄弟団 美幌教会
- ほか計84箇所

#### 「フェイシング・ザ・ジャイアント」

- 仙台 チア・サマーキャンプ
- 神奈川 Living Water Curch
- 東京 日野キリスト教会
- 埼玉 ANRCセミナー（ヘリテージ・リゾート）
- FCMF(自由クリスチヤン伝道団)
- 千葉 市原シャローム教会
- 青森 弘前キリスト集会

#### ■大阪 JECヒルズチャーチ

- 埼玉 KFG志木キリスト教会
- 神奈川 藤沢オリーブチャペル
- 静岡 インマヌエル総合伝道団浜松キリスト教会
- 東京 調布バプテスト・テンブル
- 埼玉 東京バプテスト教会 三郷キャンパス
- 千葉 千葉グレイスチャーチ

#### 「アメイジング・グレイス」

- 長野 茅野キリスト教会
- 埼玉 Shalome Community Church
- 岩手 バプテスト久慈教会
- 富山 新湊キリスト教会
- 京都 宇治福音自由教会
- 埼玉 東京バプテスト教会 三郷キャンパス
- 岡山 西大寺キリスト教会
- 北海道 中札内初穂キリスト教会
- 北海道 帯広栄光キリスト教会
- 神奈川 京浜キリスト教会
- 大阪 寝屋川キリスト教会
- 神奈川 クロスロードバプテスト教会
- 京都 宇治バプテストキリスト教会
- 埼玉 KFG志木キリスト教会
- 大阪 大阪みぎわチャペル
- 東京 弥生台キリスト教会
- ほか計5箇所

台風直撃かと思いきや、台風一過の雲一つない晴天で、神さまがチアの働きを祝福し、愛しておられることを切に感じました。

走ることは苦しいけれどゴールを目指して完走することを体感できる良い機会が与えられ、感謝な1日でした。

チア・オリンピック出場を目指して、小6の娘と早起きして毎日ジョギング、ラジオ体操が出来たことが良かったです。これからも日課としていきたいです。

すべてのプログラムが素晴らしく感謝でした。スタッフの皆さん、ジョセフくんの尊いお働きを心から感謝致します。同じ志を持った主にある兄姉との交わりは本当に素晴らしいですね。最後のサムエルさんのメッセージに励されました。ありがとうございました。  
(東京 堀井ユリ)



先日のチア・オリンピック、お疲れ様でした。心配したお天気も、よすぎるくらいでしたね。去年は参加できず、今回初参加でした。普段運動をしてないので、行きたくないなあ～とギリギリまで言っていた子供も、結局は楽しかったそうです。

私は、ずっと足が悪かったりしたので、実は運動会は嫌いです…。でも、何のプレッシャーもなく、はじめて運動会が楽しいと思えました。得意な人もそうでない人も、大人も小さい子供もみんな一緒に楽しめて、交わることのできるチア・オリンピック、来年も楽しみです。ありがとうございました。(神奈川 中山弘子)

## 第2回 チア オリンピック 参加者の声

### パート 1



昨年に続き、充実した内容でした。多くのホームスクーラーと接することができるこのような時を備えて下さり深く感謝をいたします。身体的成长を確認することができるこのような機会は大変に貴重だと思います。

ポールの投げ方についてのワンポイントアドバイスは大変に参考になりました。(埼玉 高橋恵一郎・可奈絵・聖一郎・順聖・みくに)



楽しい時間をありがとうございました！ 昨年はちょうど引越しの週と重なってしまい、参加できなかったのですが、今回は心配していた台風も通り過ぎてのよいお天気の中、守られて、参加出来たこと心から感謝しております。とても素敵なグランドでしたね！

準備等、スタッフのみなさまやボランティアの方々は大変だったと思います。（つなひきで盛り上がっている中、もくもくとイスを片づけていた藤井さんの姿が印象的でした。見える所・見えない所でのお働き…色々とありがとうございました！）

ホームスクーリングをはじめたら運動会も経験させてあげられなくなるんだな～…と9年前、就学前の長男と一緒に近所の小学校の運動会を見ながら涙をこらえたことを思い出しました。でも、主のみこころに従います…と決心して…9年たった今、こんなに素敵な仲間達と楽しそうに走ったり跳んだり投げたりしている長男を見て、改めて感謝の思いでいっぱいになりました。本当にありがとうございます。主は素晴らしい、真実なお方ですね。そしてチアのみなさまのお働きにも感謝感謝です！ 率先して走っている稻葉さんの姿にも感動しました!! すばらしい模範だと思います！

娘たちは走ったり、競争したりするのがいやだな～…と思っていたようでしたが、人と比べたりするのではなく、神様の栄光の為に、自分とのたたかいのために競技することを教えて頂いてチャレンジでき、結果的にはとても楽しんでいました！ 感謝です！

私も大玉ころがしで1位になったときには子どものように喜んでしました^O^/

つなひきもあの人数では見えていて迫力がありましたよ～！ 子どもたちが飛びあがって勝利を喜んでいるのはとてもほほえましかったです！ 感謝でいっぱいの気持ちです。（神奈川 梶山志津）

昨日も、大変お世話になりました。ボランティアとして参加させてもらい、楽しかったです。小さい子から大人までみんな一生懸命走ってらっしゃるのをゴールで見てて、感動しました。（神奈川 藤本麻矢子）

つなひきで2かいかせてました。うれしかったです。たまいれをしたこと、りーが楽しかったです（波場愛香 7才）

とっても楽しかったです。やりなげが楽しかったです。（藤本道子 9才）

今回はいろいろな種目に参加しました。結果は良くなかったけれど、そのことを気にせず思い切って参加できたことが、自分の中で満足でした。（市川希望 15才）



スミス・献士くんがチア・オリンピックの大玉転がしで転倒し、腕を骨折しました。献士君は、昨年、同種目でのプレー中の写真がチア・マガジンに掲載されるほど、シャープな動きをしてました。2チーム、デッドヒートして高速スピinn中に、大玉と一緒に、スピnnしてケガとなりました。骨折2ヶ所と、手首の脱臼で、全治1ヶ月半との診断です。それで、後日、桑谷美穂事務局長と、ジョセフと3人でお見舞いに行きました。ジョセフは、献士くんについて帰りたがりませんでした。回復は、順調とのことですが、どうぞ、皆さん、お祈りください。献士くんたちは白馬に来てくれる予定で、再会が楽しみです。他にもケガしそうになった連絡も聞きましたので、来年度は、大玉転がしは種目からはずし、別種目を考えようと、藤井一朗オリンピック実行委員長と話しています。

「先日はお見舞いに来てください、感謝しています。献士も、私達もとても励されました。ジョセフ君が帰り際に悲しそうにしてくれたのが、なんだか切なくも可愛くて、ジョセフ君が友達に心を開き預ける姿に感動しました。怪我は不自由ですが、いつも以上に一緒に勉強したり、シャワーの介助をしたりする中で、献士とたくさん話をする機会が与えられ、感謝しています。本人は、スポーツができなかったり、友達と会えないことが寂しく、また回復状況を心配しているみたいなので、お祈り本当に嬉しいです。ありがとうございます」（お母さんのスミスとも子さんより）

# チア・サマーキャンプ 2012 アンケート Part2 －大人編－



初めての参加でした。福音を伝えるというチアのもう一つの原点にふれさせていただいて感謝です。楽しいことで充実した中にも、祈りつつ準備してきたことがとつてもよく見てとれました。交流させていただいて、自分の中のぶれているところを見直し、気づかされました。いろんな方とお話がでて良かったです。日々を神様にゆだね、導きを求めつつ主の力を信じて1日1日を送っていきたいと思わされました。(鳥取 最上さおり)

5年ぶりほどで参加しました。白馬セミナーやコンベンションにはほとんど出席していますが、キャンプは久々でした。今回のサマーキャンプは、参加した方々とゆっくりお話しする機会がとても多いので、大変貴重な時となりました。花火、バーベキュー、etc…。とっても楽しかった！ ありがとうございました。

スタッフの皆さんの助けがとてもうれしいです。ありがとうございました。LITの子どもたちも、自主的に活動している様子がうかがえました。とてもすばらしいと思います。(東京 井澤紋庸)

とても良かったです。体もたくさん動かし、多くの方と交わりができて、大きな励ましを受けました。数年ぶりに大きくなったワインスタジオを見学させていただいて、とても良かったです。ビリボさんのバイブルクラスのお話にとても感銘を受けました。(東京 赤津めぐみ)

いろいろな交わりがもて、又、楽しく過ごせました。(鳥取 最上和彦)

すごく良かった!! 明泉の皆様、チア・スタッフの皆様、またLITの皆様、ありがとうございました。稻葉さん、ありがとうございました！

“神の国とその義とをまず第一に求めよ。そうすれば、それに加えて、すべてが与えられる”の御言葉の通り、グレーブシティ、幼稚園、皆さんの証を聞いて、主の祝福を見せていただきました。イエス様に感謝致します。(匿名希望)

内容も充実していて、素晴らしいです。一貫して、キリストの弟子育成の為で大いに励されました。船下りや渓流遊びも大いに楽しめました。感謝でいっぱいです。(匿名希望)

至れり尽くせりありがとうございました。子どもたちが喜んで遊んでいたおかげで、夫婦だけで活動する時間がとれました。久しぶりにデートした気分です。チャーチスクールに入れればOKというわけではないということも分かり、ありがとうございます。スタッフの皆様の支えて下さる姿は、子どもたちの良いモデルとなりました。(匿名希望)

プログラムに無理がなく、子ども達も楽しんで過ごすことができ、とても良かった。食事(たとえばハンバーグやホットドック)もアクティビティと組み合わせてあり、よく考えられていた。(大阪 嶋崎

真波)

自分を捨て、キリストの為に生き、純粋な信仰を持っているピリポ・ブローマンさんのメッセージには、毎回、感動させられます。この世ではなく、天に宝を積む模範を示して下さる明泉の皆さん、チアのスタッフの皆さんには心から感謝します。親子ともども、主にある兄弟の交わり、励まし、遊びなど、神様から大きな祝福を受け、感謝でいっぱいです。

初の試みの舟下り、石投げもとても楽しかったです。(東京 亀井正恵)

至れり尽くせりのプログラムで大変楽しく、また、今後の決断への発見を感謝します。(宮城 亀田克彦)

今回は赤ちゃん連での参加だったのでスケジュールについていくので精一杯でしたが、本当に満喫させていただきました。ホームスクールの先輩や仲間が与えられていることを感謝します。ナタンさんの話で、神を第一としていれば、必要なものはすべて与えられるなどを、改めて説得力をもって聞かせていただきました。感謝です！(埼玉 菊地あかり)

最高！に楽しかったです。また来年も参加したいです。皆さんとも交わりがとても良かったです。本当に励まされました。川遊び、楽しかったです。(東京 横田英孝)

初めての参加でしたが、とても楽しかったです。イエス様の聖書

の話もとても充実して良かったです。奉仕して下さった皆さんに心より感謝します。子どもたちもとても喜んでいます。(千葉 小川あや)

小さなところまでよく準備されていて、びっくりしました。LITのみんながとても優しくて、楽しかったです。楽しく盛りだくさんで、交わりの時間もゆっくり取ることができて、來ることができてよかったです。何から何まで本当によ

く準備して下さって、ありがとうございました。来年は家族みんなで来たいです。(東京 浜ゆづり・しづ香)

キャンプ中に大きな影響を受け、良い父親としてしつけをしなくてはと、焦った。その中で、夜中のキャンプファイアーの残り火を前に妻と話し合い、こんな至らない私たちを親として立てられた神様を信頼していこうと改めて思い、感謝でした。(匿名)

キャンプに来ると、いつも靈的にリフレッシュされます。このような安心する場所に、家族と一緒に来られることは祝福ですし、「子どもたちは大丈夫かな?」と心配しなくともいいのは本当に恵みです。このキャンプでは、肯定的なクリスチャンの環境が与えられ、また来るのが楽しみになります。(東京 ピショップ・エレン)

## チア・サマーキャンプ 2012 アンケート Part2 -LIT・子ども編-



### LIT

初めてLITとして参加させて頂いたのですが、とても楽しめましたし、勉強にもなりました。明泉幼稚園のスタッフの元で働かせて頂き、全力で仕事に励む姿勢や、他のスタッフとのチームワークなどを見て、感激しました。僕はただそれに引っ張ってもらっただけでしたが、何事にも全力で励む事、弱音をはかない事等を覚えました。とても良いサマーキャンプでした。ありがとうございました。

来年もまたLITとしてみんなと全力で汗を流して働きたいです。(田中喬士)

他の人に仕えるということについて学ぶことができたし、先生たちの話を聞いたり、また、いろいろ楽しむこともできてとてもうれしかったです。(乾潔志)

今回は、LITとしては2回目の参加だった。準備や活動の手伝いをさせていただいたが、とても有意義な時間になったと思う。また、

なにかのイベント等に参加する際には、準備をしたり、サポートして下さる人がいることを忘れず、感謝したい。(小島宰門)

とても良かったです(池田直樹)

とても楽しく、充実していた。仕事は大変だったけれど、たくさんのこと学べたと思う。(吉田光)

自分からすすんで仕事をすることを学べてよかった。(堀井勇士)

とても充実していて、楽しかった! LITとして働いて、とても良かった! 滝つぼでジャンプしたのが、とにかく楽しかった。他のLITの子達とも仲良く過ごせたし、本当に良い思い出になったー! ご飯も豪華でおいしくて、スタッフのみなさんに本当に感謝です。キャンプを楽しくするための演出も素敵で、感動しました。啓明の子達と一緒に働けたこともとても良かった!! (中村光美)

初めてLITとして参加しました。アクティビティも聖書の話もとても楽しめました! なによりも友だちと仲良くなれたのがうれしかったです。丸森の子達と友だちになれたのも良かったです。サイコーでした!! とっても良い思い出、ありがとうございました!(小西春奈)

とても楽しく、良い交わりもあって良かったです。色々と学んだり教えられたり、良い機会でした。チア・にっぽんのLITの人達と仲良く交わされたことも、とても良かったです。その他、色々なアクティビティに参加できたことも、すごく感謝します。とくに、ウォーターファイトが一番楽しかったです。

サマーキャンプはとても良いイベントだと思います。なぜなら、全国のクリスチャンたちと家族のように話したり、色々と話したり交わったりできるからです。(矢幅寛)

初めてお手伝いできたことはよ

かったです。トーマス＆リディアさんのお話が良かったです。来年もまた、滝つぼ、船下り、ネットワーキングをしたいです。夜のティーンの遊びを続けてほしいです。(今井洋)

良かったです。(プラントン満)

LITといっしょに行動ができるてよかったです。(小原信)

たくさんの方と交わりができたり、楽しいプログラムがいっぱいあってとても楽しかったし、聖書の学びなどもあって、すごく恵まれました。LITに入って啓明の子どもたちと交われたり、沢山のことをこの6日間で学べたりしました。本当に感謝です。日々の生活に生かしていきたいと思います。LITをやれてよかったです。来年もあってほしいです。(竹之内星奈)

友だちが沢山できて、みんなと仲良く過ごせたことがうれしかったです。本当にwonderfulなチア・サマーキャンプでした。兄弟姉妹がいっぱいできてうれしかったです。神様が今年のチア・サマーキャンプを本当に祝福したと思わされました。神様ありがとうございます！スタッフのみなさんありがとうございます！(プラントン千恵)

丸森の人やスタッフの話がよかったです。とても充実していました。来年は滝つぼで一番上から飛びたい！(堀井翼)

仕事が(すごく)ハードでした。でも(すごく)良かったです！(勤勉になれるように励まし合えた)。

この活動は是非続けて下さい！ものすごく毎回励まされます!!!!!(松岡基)

すごく良かった。又来て手伝いたいです。(武浪軍)

今まで一般参加で、今回初めてLITに参加しました。1～3日目の準備期間、とても楽しみました。4～6日目の本番も、仕事を学べたので良かったです。(赤津

共喜)

とても楽しかったです。たくさん友だちもできました。みんなと一緒に心を一つにして働くことを覚えました。みんなの意見を聞いてから、物事を決めることも覚えました。仕事をするときに一生懸命働くことも教えられました。(プラントン・タリタ)

本当に恵まれたサマーキャンプでした。初サマーキャンプ、とっても楽しかったです!!! (とくにウォーターファイト)。LITでもとても鍛えられて、成長することができ感謝です(スタッフの皆さんありがとうございます)。明泉の子達とも友だちになれて、沢山遊べて楽しかったです！バイブルタイムの話もとっても勉強になりました。早く来年のサマーキャンプになってほしいです。(藤原佑里子)

とても楽しくて良かった。注意されたこと也有ったけれど、良かったです。テラス掃きもけっこう楽しかったです。来年もまた、手伝いに来たいです。もっと頑張りたいです。(武浪将)

#### 【子ども】

たのしかったです。(きくちのゆり 6歳)

初めてのキャンプファイアーや花火、ウォーターファイトなど全部おもしろくて、ゆうぐもすごいたくさんあって楽しかった。友だちもできてよかったです。(篠崎悠斗 8歳)

3年まえと4年まえはまだ小さかったのでおぼえていなかったので、色々な物があつてびっくりしました。楽しかったです。また川で遊びたいです。(ビショップ陽友 9歳)

はじめてだったけど、とてもアクティブで楽しかった(特に川で遊んだこと)。とても良いキャンプになったと思う。来年も来たい。(佐野まひろ 12歳)

とても楽しかった。(河島マツエ 10歳)

1つしかないこの人生をもったいない人生にしたくないと思った。神様によく祈って神様にしたがっていきたいと思った。すごく楽しいキャンプだった。ありがとうございました。(最上知恵 14歳)

ワインスタジオがすごく楽しかったです。川に飛び込みとか、泳げたことが良い体験でした。来年はLITもしてみたいです。(那須里紅香 12歳)

たくさん友だちができた、みんなで仲良く遊べたので、とてもよかったです。来年は友だちのKちゃんを連れてきてあげたいです。準備してくださったスタッフ、LITのみなさん、本当にありがとうございました。(ビショップ友恵 10歳)

たくさんお友だちが作れたことが楽しかった。黄色い滑り台ができたことがよかったです。カレーライスがおいしかったです。稻葉さん、いっぱい、いっぱい子どもがいるのに働いてくれてありがとうございます。(ビショップ友寿 5歳)

すごく楽しかったです!!! とくに、川が楽しかった。低いところからだけど川に向かってジャンプしたのが楽しかったです。今から、来年のサマーキャンプを楽しみにしています。(堀井汀 11歳)

楽しかった。来年も泳ぎたいです。(横田瑞貴 12歳)

楽しかったです。来年も今回のようないわーターファイトとかスイカ割りとかしたいです。(西山早紀 12歳)

ファミリーで楽しんだり、友だちと沢山遊べたし、色々なお話を聞けてよかったです。とくに朝に聞いた、キリストにしたことが残る、が一番良かったです。来年のキャンプも今年のキャンプのように、もっともっと楽しもうと思います。(最上喜子 11歳)

## 藤本多真恵ちゃん召天式



10月2日火葬の朝。「多真ちゃん、天国でまた会おうね！  
私達の家族に生まれてきてくれてありがとう！」

藤本博樹

本日は多真恵の為に、お忙しい中、貴重な時間を頂きありがとうございました。そして、今まで多真恵の為に、たくさんの方が、お祈りして頂き又、チアのホームページを通して、お祈り頂いたこと、多くの兄弟姉妹が多真恵に会いに来てくれたこと心より感謝します。多真恵はみんなに祈られ、愛され、幸せな子でした。



私達家族は今日、多真恵の召天式でこうして多くの人に励まされ、慰めを頂きました。多真恵は苦しみが強いと、小さな手を強く握りしめ、声を出していました。どれだけ苦しいか私には想像も出来ませんが、せめて、その苦しみを少しでも一緒に感じられたらと思い、多真恵の手のひらの中に私の小指を入れるとギュット強く握りしめ、「パパ苦しいよ、助けて」と言っているように感じました。

今回、多真恵を通して一番示されたことは、私がアメリカへ出張中の出来事でした。今まで多真恵に関わる時間が少なく、仕事をしている私を気遣い、妻は体を休める時間をくれました。妻は24時間絶えず多真恵に付き添い、肉体的・精神的にも辛かったはずです。妻の私に対する思いを巡らし、エペソ5：28（夫も自分の妻を自分の体のように愛さなければなりません）の御言葉が心に入り込み、日本に戻ったらず、妻に素直な気持ちを伝え、少しでも妻の体が休まる時間が与えられ、体の健康が守られ、妻の体を自分の体のように愛することができますようにと祈りました。

9月12日、多真恵の様態が悪化し、私はアメリカから緊急帰国となりました。「どうか私が帰るまで生きている多真恵に会わせてください」と神様に祈っていました。神様の導きの中、生きている多真恵に会う事が出来ました。帰国後も、いつでも多真恵は危険な状態でしたが、みなさんの祈りが聞かれ一時的に多真恵の様態は良くなりました。

しかし9月30日、多真恵は全ての苦しみから解放され、天の御国へ行くことができました。この瞬間に多真恵の体中に付いていた器具を全て外し、…家族みんなずっと抱きしめていました。

今日まで多真恵を完全看護してくれた妻に、心より感謝します。時間は掛かると思いますが、とにかく、体をゆっくりと休めてください。一日も早く心からの笑顔を見せてください。多真恵の魂は永遠に天国にあります。そして私達家族を、神様の憐れみによって救ってくださったこと心より主に感謝します。

最後に一つだけお願いがあります。…どうか妻のために心の慰めの祈りを引き続き、共に祈ってください。今日は本当にありがとうございました。

藤本由美

いつも多真恵のため、私達のために、お祈りし、支えてきて下さったことを感謝しています。全ての事を振り返ると、神様は憐れみ深く、真実なお方でした。また、「全ての事を益として下さる」という聖書の言葉は、本当にその通りであったと実感



しています。この試練の中で、私が一番わからせて頂いた事は“自分の弱さ”でした。

第2コリント11：9 「わたしの力は弱さのうちに完全に現れる」。まさに私の弱さの中で、いかに神様が憐れんで、力強く働いて下さったか、また家族、兄弟姉妹、周りにおかれている方々を通して、自分を助けて支えて下さったか…本当に感謝します。

時には、目の前で苦しんでいる多真を泣きながらさり、祈っている中で、自分の弱さゆえに「神様は祈りをきいて下さっているのかな…」とか、マタイ5：4 「悲しむ者は幸いです。その人たちは慰められるから」と書いてあるけど、こんなに辛くて悲しいのに、どうやって慰めて下さるんだろうと思い巡らせていると、ちょうど姉妹から電話がかかってきました。そして、いつもは見ない所の御言葉に目がとまり、第2列王記20：5 「私はあなたの祈りを聞いた。あなたの涙も見た。見よ。わたしはあなたを癒す」と書いてありました。私は主に謝りました。確かに主は私の苦しみ、涙を知っていて下さり、祈りも聞いていて下さいました。ヨハネ6：37 「わたしは決して捨てません」、本当にこの御言葉通りでした。こうして慰めを受け、心が平安で満たされました。

今回の事は自分一人では負いきれないほどの重荷でしたが神様が共に負って下さって、御言葉や兄弟姉妹、周りにおかれている人達を通して本当に助けて下さいました。毎日のように多真が苦しんで、私や家族も共に苦しんで、この事に何の意味があるんだろうと思った時にもメールなどで“多真ちゃんの力の限り頑張る姿に励まされる”と言ってもらうと、兄弟姉妹の益になってるんだ、多真や私達の苦しみは無駄ではないんだと励まされ、嬉しくなりました。そして子供達も、この試練を通して本当に成長しました。また夫婦関係も良くしてくださいました。

10月2日の火葬の日は今までに経験したことがないほどの辛さでした。しかし私達に与えられている天国での再会の希望によって本当に慰められています。今はただ、ただ、神様に感謝しています。

### 藤本峻多（12）

2012年5月1日に多真恵は生まれました。多真恵は生まれてすぐに鼻から酸素吸入や口から管を入れられて、本当にかわいそうでした。



た。でも、もっとかわいそうだったのが、生まれてすぐに家族と離れて入院していた事でした。7月1日、多真恵は生後2ヶ月で退院し、…抱っこしたり、お風呂に入れてあげる事ができて、すごくうれしかったです。でも9月になったらミルクの量も減って本当にかわいそうでした。亡くなる前の日には、ミルクも消化できなくて、胃の中が出血していて本当にかわいそうでした。…多真恵がいた5ヶ月間は、すごくいい体験でした。今はさみしいけれども、多真恵に天国で会えるのを楽しみにしています。

### 藤本真利花（9）

多真ちゃんが18トリソミーとわかったとき、私はどういう病気かわかりませんでした。後でパパとママから教えてもらいました。多真ちゃんが1才をむかえられない病気とわかり、心がいたくなりました。

…多真ちゃんが生まれてきた理由はいろいろな人に伝道をするためだと思いました。多真ちゃんが生まれててくれたおかげで、いろいろなことが学べました。多真ちゃんの状態が悪い時、おいのりをすると、状態がよくなりました。私は神様にかんしゃしました。そして、多真ちゃんの状態がまた悪くなって、こきゅうが止まった時、…私は多真ちゃんが神様の所に行ったなと思いましたが、多真ちゃんが自分でこきゅうをしあげて、びっくりしました。神様の力が多真ちゃんに働いたと思いました。…多真ちゃんは永遠の天国で生きています。そして私の心の中でも多真ちゃんは生きています。



お姉ちゃんがとかしてあげるね 気持ちいいでしょ？

## チア・にっぽん カレンダー

## ●白馬セミナー

11月22日（木）～24日（土）

◆ホテル・グリーンプラザ白馬（長野）

## ●チアにっぽん関東ミニ学習会（予定）

2013年2月5日（火）10時30分～15時30分

同年7月12日（金）10時30分～15時30分

◆国立オリンピック記念青少年総合センター

## ●チア・コンベンション2013

関西 2013年5月24日（金）～25日（土）

東京 2013年5月30日（金）～6月1日（土）

サマリタンズパースは、オペレーションクリスマスチャイルドというプログラムを始めました。世界の貧困や飢餓の中でたくましく生きる子供たちに、クリスマスプレゼントを配ろうというものです。またプレゼントの配布にともない、子供たちは12週間のDiscipleship（弟子訓練）プログラムの冊子を受け取り、地域の教会でバイブルスタディを受けることができます。

詳細はこちらへ。<http://www.samaritanspurse.jp/jp/>

医療法人社団  
マリヤ・クリニック  
内科・小児科

〒263-0043  
千葉市稲毛区小仲台 6-19-19 My ビル  
Tel: (043) 287-2624 Fax: (043) 287-2610  
<http://mariyyclinic.com/>

柏崎良子院長著  
低血糖症と精神疾患治療の手引  
第3版販売中  
問い合わせ：株式会社ヨーゼフ

## 株式会社 ヨーゼフ

柏崎良子・柏崎久雄共著

神のデザインによる医療  
絶賛販売中

問い合わせ：株式会社ヨーゼフ

Tel: (043) 207-6035

FAX: (043) 207-6036

メール：[info@yozeph.com](mailto:info@yozeph.com)<http://yozeph.com>

## 7月会計

| 収入          |           |
|-------------|-----------|
| 献金          | 1,062,000 |
| 書籍・教科書      | 81,788    |
| 会費          | 115,000   |
| 広告          | 20,000    |
| DVD/CD、ビデオ等 | 83,825    |
| その他         | 209,637   |
|             | 1,572,250 |
| 支出          |           |
| 事務局経費       | 1,337,102 |
| 通信運搬費       | 108,031   |
| 交通費         | 47,879    |
| 印刷費         | 304,003   |
| DVD仕入れ費     | 80,773    |
|             | 1,877,788 |

残高 -305,538  
前期繰越 194,924  
翌期繰越 -110,614

## 8月会計

| 収入          |           |
|-------------|-----------|
| 献金          | 1,093,874 |
| 書籍・教科書      | 142,139   |
| 会費          | 51,000    |
| 広告          | 20,000    |
| DVD/CD、ビデオ等 | 149,598   |
| その他         | 181,803   |
|             | 1,638,414 |
| 支出          |           |
| 事務局経費       | 1,297,301 |
| 通信運搬費       | 97,969    |
| 交通費         | 75,550    |
| 印刷費         | 163,391   |
|             | 1,634,211 |

残高 4,203  
前期繰越 -110,614  
翌期繰越 -106,411

☆尊い献金、会費、義捐金の送金を、  
心から感謝いたします。



## チア・にっぽん事務局

〒189-0013 東京都東村山市栄町1-5-4-103

TEL 042-318-1807

メール対応FAX 03-6862-8648

メール [office@cheajapan.com](mailto:office@cheajapan.com)[www.cheajapan.com](http://www.cheajapan.com)